

日本語

V6.01 で更新される主な機能

バージョンアップに関してのご注意

バージョンアップする場合は、必ずバージョンアップガイド「4-724-330-02(1)」に従って操作を行ってください。

FTP によるファイル転送時速度の向上

本機で記録したオリジナルクリップを FTP にてアップロードする際の最大転送速度を向上しました。

ご注意

アップロード時間の短縮は、ネットワークの回線環境に依存します。

関連メニュー

Maintenance > File Transfer

V6.00 で更新される主な機能

HD 記録モードでの S-Log3 対応

記録フォーマットが HD の場合、HDR(S-Log3) が選択できるようになりました。

* 1 スロット同時記録の場合、4K(QFHD)Rec/Out の設定が HDR(S-Log3) のときのみ選択可能です。

関連メニュー

Operation > HDR Setting > HD Rec/Out

HLG Look の機能拡張

HLG Look の設定値に Mild を追加しました。Mild 設定は、ITU-R BT.2100(HLG) に準拠し、Live よりも全体的に画質がマイルドになる特性を持っています。

関連メニュー

Paint > HDR Paint Setting > HLG Look

HDR Black Compression 機能の追加

HDR Black Compression 機能を追加しました。HDR 映像の Black を SDR 映像に合うようにする機能です。

関連メニュー

Paint > HDR Paint Setting > HDR Black Compression

HD 記録モードの変調度改善

QFHD オーバーサンプリングを活かした高解像度特性が選択できるようになりました。

関連メニュー

Maintenance > Camera Config > HD Modulation
- High : 高解像度特性
- Normal : 従来の特性

その他

ネットワーク機能を改善しました。
ネットワークセキュリティを強化しました。

ご注意

Wi-Fi Mode を Wi-Fi Access Point で使用する場合、パスワードは初期値のまま使用しないで、必ず以下の手順で再生成したパスワードを使用してください。

- 1 メニューの Maintenance > Network > Setting を On にする。
- 2 メニューの Maintenance > Network > Wi-Fi Mode を Wi-Fi Access Point にする。
- 3 メニューの Maintenance > Network > Regenerate Password を実行する。

V5.01 で更新される主な機能

一部の接続機器を使用すると本機の電源が意図せず切れてしまう症状を解消しました。

V5.00 で更新される主な機能

Last Clip Delete 機能に対応

アサインブルスイッチに Last Clip Delete 機能を割り当てることにより、直前に記録したクリップを削除できるようになりました。

関連メニュー

Operation > Assignable Switch

ピクチャーキャッシュレック機能の拡充

XAVC-L QFHD、および MPEG HD422 の 1 スロット同時記録時に、最大約 2 秒までのピクチャーキャッシュレック機能に対応しました。

関連メニュー

- Operation > Rec Function > Picture Cache Rec
- Operation > Rec Function > 4K & HD(Sub) Rec

サブ記録 (HD) 側の再生機能に対応

1 スロット同時記録したサブ記録 (HD) 側の再生機能に対応しました。

関連メニュー

Operation > Rec Function > HD(Sub) Playback Mode

Detail の個別設定機能に対応

Detail を QFHD と HD で個別に設定できるようになりました。リモートコントロールユニットで操作する場合も、QFHD、または HD で個別操作が可能です。

関連メニュー

- Paint > Detail(QFHD)
- Paint > Detail(HD)
- Maintenance > Detail Control(RM/RCP)

ご注意

本機のファームウェアを V5.0 未満から V5.0 以降にバージョンアップした場合、従来の Detail のメニュー設定値は Detail(HD) には反映されますが、Detail(QFHD) には反映されません。Detail(QFHD) の値は手動で設定してください。

ホワイトバランス機能の改善

ホワイトバランスの変化によって生じる色再現の補正方法を改善しました。

関連メニュー

Paint > Tracing Matrix
– Type A : V4.12 までの方式
– Type B : Type A に対し補正方法を改善 (初期設定値)

拡大フォーカス（Focus Mag）モードの表示機能改善

誤操作を防ぐため、拡大フォーカス（Focus Mag）の視認性を改善しました。

HDR 機能の名称を変更

メニューの Paint >HDR Paint Setting の項目名、および設定値の名称を変更しました。

関連メニュー

Paint >HDR Paint Setting >HLG Look

– Natural：ITU-R BT.2100(HLG) に準拠した特性

– Live：ITU-R BT.2100(HLG) に準拠し、より HDR の効果を引き出す特性（初期設定）

“SR Live for HDR” メタデータに対応

SDR Gain などのキーパラメーターをメタデータとしてファイルに同時に記録できるようになりました。これらのキーパラメーターは、SDI 出力にも重畳できます。

メタデータを活用して、Live カメラ制作からポストプロダクションでのファイル処理まで一貫したソリューションが提案可能になります。

サムネイル 画面からのファイル転送指示に対応

本機のサムネイル画面からオリジナルファイル、またはプロキシファイルの転送選択ができるようになりました。

関連メニュー

Thumbnail >Transfer Clip

Thumbnail >Transfer Clip(Proxy)

証明書更新メニュー対応

Web メニューで Network Client Mode の証明書がインポートできるようになりました。

また、Web メニューの Upload Settings で Sony Ci 証明書もインポートできるようになりました。

証明書の詳細は、ソニー法人営業窓口にお問い合わせください。

関連メニュー

• Web メニューの System Settings >Network Client Mode Settings

• Web メニューの Upload Settings の「Sony Ci」設定用画面

パスワードセキュリティの強化

セキュリティ強化のため、Basic 認証に使用するパスワードに 8 文字以上の英数字をそれぞれ 1 文字以上使用することを必須としました。

関連メニュー

Maintenance >Basic Authentication >Password

ご注意

本機のファームウェアを V5.0 未満から V5.0 以降にバージョンアップすると、パスワード設定はリセットされます。この場合はパスワードを再設定してください。

その他

記録、および起動に関する動作の安定性が向上しました。

V4.12 で更新される主な機能

• Proxy File の Auto Upload 時、転送エラー File より新規追

加 File を優先的に転送するようにしました。

• 記録動作の安定性を向上しました。

V4.11 で更新される主な機能

本機の日付設定がうるう日（2月29日）に設定されていると記録が出来ない症状を改善致しました。

V4.10 で更新される主な機能

XQD メモリーカード QD-G120F、QD-G240F に対応

本機で使用可能な XQD メモリーカードに QD-G120F、QD-G240F を追加しました。XQD メモリーカードを使用する際には XQD ExpressCard アダプター (QDA-EX1) が必要です。

V4.01 で更新される主な機能

SDI Quad Link 2SI Level-A 出力に対応

3840 × 2160 59.94P(50P) 運用時、SDI 端子を 4 本使用した Quad Link の Square Level-B 方式に加えて、2-Sampling Interleave(2SI) Level-A 方式で 59.94P(50P) 出力ができるようになりました。

関連メニュー

Operation >Input/Output >Output Format

ご注意

別途、アップグレードライセンス CBKZ-Z450QL が必要です。アップグレードライセンスはメニューの Maintenance >Option でインストールします。

4K(QFHD) 記録時のインターバルレック機能に対応

4K(QFHD) 記録時のインターバルレック機能に対応しました。

関連メニュー

Operation >Rec Function >Interval Rec

S-Gamut3/S-Gamut3.Cine の色域に対応

S-Log3 撮影時の色域として S-Gamut3/S-Gamut3.Cine が選択できるようになりました。

関連メニュー

Operation >HDR Setting >S-Log Color Space の以下の設定値

BT.2020

S-Gamut3(3200K)

S-Gamut3(4300K)

S-Gamut3(5500K)

S-Gamut3.Cine(3200K)

S-Gamut3.Cine(4300K)

S-Gamut3.Cine(5500K)

ATW (自動追尾ホワイトバランス) の Pure モードに対応

従来の Natural モードに比べ、青みや赤みの色を残さずに、より原色に近づけるようにホワイトバランスを調整する Pure モードに対応しました。

関連メニュー

Operation >White Setting >ATW Mode

Natural：自然な雰囲気になるように調整

Pure：より原色に近づけるように調整

Slow & Quick Motion のアサインブルスイッチ登録

メニューの Slow & Quick Motion の Off/On 設定をアサインブルスイッチで切り替えることが可能になりました。アサインブルスイッチの 1、3、4、5、および ONLINE ボタンに登録可能です。

関連メニュー

Operation >Rec Function >Slow & Quick Motion
Operation >Assignable SW

プランニングメタデータの SDXC カードからのロードに対応

別売りのメディアアダプター MEAD-SD02 を使用して SDXC カードからのプランニングメタデータのロードが可能になりました。

関連メニュー

Operation >Planning Metadata

ご注意

SD/SDHC カードは使用できません。

ネットワーククライアントモード時の機能改善

ソニーの QoS 技術を用いた高品質なストリーミングの性能を改善しました。

また、Connection Control Manager を使用して以下の操作が可能になりました。

- プロキシ記録する / しないの設定
- カメラリモートコントロール、および ALL ファイルの運用

関連メニュー

Maintenance >Network Client Mode >Preset1/2/3
NCM with Proxy
Camera Control
Camera Setting

フラッシュバンド補正機能の改善

フラッシュバンド補正機能の改善を行いました。

V3.00 で更新される主な機能

ハイダイナミックレンジ (HDR) 対応

Hybrid Log Gamma (HLG) や S-Log3 に対応し、ダイナミックレンジを拡大した撮影が可能になりました。

HLG は次の 2 種類から選択できます。

- HLG_BT.2100 : ITU-R BT.2100(HLG) に準拠した特性
- HLG_Live : ITU-R BT.2100(HLG) に準拠し、より HDR の効果を引き出す特性 (初期設定)

HDR 設定時、色域は ITU-R BT.2020 相当に拡張されます。

関連メニュー

- Operation >Base Setting
- Operation >HDR Setting
- Paint >HDR Paint Setting
- Paint >Gamma(HDR)

ご注意

HDR 設定はファイルシステムが exFAT で、記録フォーマットが 4K(QFHD) または HD のときに有効になります。

HLG ディスプレイアシスト機能

HDR 設定で HLG 撮影を行うとき、ビューファインダーや LCD モニターの画像を自動的に HDR 対応した適切な表示に設定する機能です。

本機能は、アサインブルスイッチに「HLG Display Assist」機能を割り当てることで必要に応じて機能のオン・オフを切り替えることができます。

ご注意

本機能はビューファインダーや LCD モニターのみに適用され、記録画像や出力画像には適用されません。

ノイズサプレッション機能の拡充

ノイズサプレッションのレベルに High よりも強くノイズ成分を抑制する Super を追加しました。

また、レベルをゲイン設定に連動させるゲインリンクモードを追加しました。

関連メニュー

Paint >Noise Suppression >Level
Paint >Noise Suppression >Gain Link

4K(QFHD) 記録時のピックアップキャッシュレック機能に対応

4K(QFHD) 記録時のピックアップキャッシュレック機能に対応しました。

- XAVC-I QFHD(29.97P 以下) 時、0 ~ 2 秒
- XAVC-L QFHD(59.94P/50P) 時、0 ~ 8 秒
- XAVC-L QFHD(29.97P 以下) 時、0 ~ 12 秒

ご注意

ピックアップキャッシュレック機能と他の特殊記録の同時運用はできません。

4K(QFHD) 記録時のスロー&クイックモーション機能に対応

XAVC-I QFHD または XAVC-L QFHD 記録時に 1FPS ~ 60FPS までのスロー&クイックモーションに対応しました。

ご注意

スロー&クイックモーション機能と他の特殊記録の同時運用はできません。

拡大フォーカスの機能改善

HDVF-EL20/EL30 シリーズのビューファインダー使用時に、記録フォーマットを 4K(QFHD) に設定すると、従来の拡大フォーカス機能に比べて、より高品位な拡大表現が可能になります。

本機能はアサインブルスイッチに「Focus Magnifier」を割り当てて使用します。

SDHC メモリーカード (FAT) に対応

別売りのメディアアダプター MEAD-SD02 で使用できる SD カードに、SDXC メモリーカードだけでなく SDHC メモリーカードも加わりました。

で注意

- SDHC メモリーカードはファイルシステムが FAT で、記録フォーマットが MPEG HD420(HQ/SP) のときにのみ対応しています。
- FAT ファイルシステムは SDHC メモリーカードのみに対応しています。

Wi-Fi ステーションへの接続設定対応

Wireless LAN アクセスポイント (Wi-Fi ステーション) の接続設定を Web メニューからだけでなく、本機のメニューから設定ができるようになりました。

関連メニュー

Maintenance > Network > Wi-Fi Station Detail Settings

ネットワーククライアントモードの複数登録

ネットワーククライアントモードの設定を3つまで登録できるようになりました。

関連メニュー

Maintenance > Network Client Mode > Preset 1 ~ Preset 3

XAVC Proxy Rec Mode のアサインブルスイッチ登録

メニューの Operation > XAVC Proxy Rec Mode > Setting 設定をアサインブルスイッチで切り替えることが可能になりました。

ネットワーククライアントモード時のプロキシ記録のオン・オフをメニュー操作することなく切り替えできます。

デジタルワイヤレスレシーバーとの連携機能の強化

本機と連携してソニー製デジタルワイヤレスレシーバー DWR-S01D/S02D/S02DN のパワーセーブ制御が可能になりました。

- アサインブルスイッチに「TX Power Save」機能を割り当てできます。
- 本機の電源スイッチと連動してデジタルワイヤレスレシーバーのパワーセーブ制御を行います。
- パワーセーブ時のデジタルワイヤレスレシーバーの状態をビューファインダーや LCD モニターに表示できます。

関連メニュー

Maintenance > WRR Setting > TX Power Save

Maintenance > WRR Setting > TX-Cam Power Sync

で注意

本機能に対応するソニー製デジタルワイヤレスレシーバーのファームウェアバージョンは次のとおりです。
DWR-S01D V1.16 以降、S02D V1.07 以降、S02DN V1.12 以降

V2.00 で更新される主な機能

1 スロット同時記録の対応

XAVC-I 3840 × 2160P または XAVC-L 3840 × 2160P 記録時に、サブクリップとして MPEG HD422 の記録ができるようになりました。

メニュー Operation > Rec Function > 4K & HD (Sub) Rec を On にすることで機能を有効にできます。

サブクリップをメインクリップとしてメディアにコピー

1 スロット同時記録で作成したサブクリップを、別のメディアにメインクリップとしてコピー保存することができます。

記録中のフォーマット

記録中でも、もう一方のカードスロットに装着した SxS メモリーカードのフォーマットが可能になりました。

で注意

- 1 スロット同時記録中、再生中およびサムネイル画面表示中には、フォーマットはできません。
- フォーマット中には、もう一方の SxS メモリーカードへの記録操作は受け付けません。

SDI Quad Link 出力に対応

3840 × 2160 59.94P(50P) 運用時、SDI 端子を 4 本使用した Quad Link (Square 方式) で、59.94P(50P) 出力ができるようになりました。

で注意

別途、アップグレードライセンス CBKZ-Z450QL が必要です。アップグレードライセンスはメニューの Maintenance > Option でインストールします。

XDCAM air 対応

本機と XDCAM air を接続することで、高品質なストリーミングを行えるようになりました。

で注意

XDCAM air は、ソニーが提供するクラウドサービスです。このサービスをご利用になるには、別途契約が必要です。一部対応していない地域がありますので、サービス対象地域について XDCAM air のサイトをご確認ください。

<https://www.xdcam-air.com>

また、XDCAM air のプライバシーポリシーについては、以下のサイトを参照してください。

– 利用規約

https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html

– XDCAM air のプライバシーポリシー

<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>

– プロフェッショナル ID のプライバシーポリシー

<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>

詳しくは、ソニー法人営業窓口にお問い合わせください。

プランニングメタデータファイルの転送

「Auto upload (Proxy)」を設定時、プランニングメタデータファイルの転送ができるようになりました。

Web メニューについて

Web メニュー画面の左上の  をタップして表示されるメニュー項目に「OSS Information」を追加しました。

Major Functions Updated in V6.01

Precautions when upgrading

When upgrading, follow the steps described in the upgrade guide (4-724-330-12(1)).

FTP file transfer speed enhancement

The maximum transfer speed when uploading original clips recorded on the unit via FTP has been increased.

Note

The reduction in upload time will depend on the network environment.

Related menu items

Maintenance >File Transfer

Major Functions Updated in V6.00

S-Log3 support in HD recording mode

HDR(S-Log3) can now be selected when the recording format is set to HD.

* For 1-slot Simul Rec, HDR(S-Log3) can be selected only when 4K(QFHD) Rec/Out is set to HDR(S-Log3).

Related menu items

Operation >HDR Setting >HD Rec/Out

HLG Look function enhancements

"Mild" has been added to the options for HLG Look. When set to Mild, a characteristic conforming to ITU-R BT.2100(HLG) that delivers milder overall picture quality than Live is selected.

Related menu items

Paint >HDR Paint Setting >HLG Look

HDR Black Compression function added

An HDR Black Compression function has been added. The function sets the HDR video black level to match the SDR video.

Related menu items

Paint >HDR Paint Setting >HDR Black Compression

HD recording mode modulation improvements

A high-resolution characteristic that takes advantage of QFHD oversampling can now be selected.

Related menu items

Maintenance >Camera Config >HD Modulation
– High: High-resolution characteristic
– Normal: Conventional characteristic

Other

The network function has been improved. Network security has been strengthened.

Note

When Wi-Fi Mode is set to Wi-Fi Access Point, the password should not be used as-is. Use a password generated using the following procedure.

- 1 Set Maintenance >Network >Setting to On.
- 2 Set Maintenance >Network >Wi-Fi Mode to Wi-Fi Access Point.
- 3 Execute Maintenance >Network >Regenerate Password.

Major Functions Updated in V5.01

Resolved an issue whereby the power of the unit turns off unintentionally when using some connected devices.

Major Functions Updated in V5.00

Last Clip Delete function support

The last recorded clip can now be deleted using an assignable switch assigned with the Last Clip Delete function.

Related menu items

Operation >Assignable Switch

Picture Cache Rec function expansion

The Picture Cache Rec function now supports up to 2 seconds of cached recording in 1-slot Simul Rec mode in XAVC-L QFHD and MPEG HD422 formats.

Related menu items

- Operation >Rec Function >Picture Cache Rec
- Operation >Rec Function >4K & HD(Sub) Rec

Subclip recording (HD) playback function support

The playback function is supported for subclips (HD) recorded in 1-slot Simul Rec mode.

Related menu items

Operation >Rec Function >HD(Sub) Playback Mode

Separate Detail settings support for various resolutions

Detail can now be configured separately for QFHD and HD. Separate controls for QFHD and HD are also supported via remote control unit operation.

Related menu items

- Paint >Detail(QFHD)
- Paint >Detail(HD)
- Maintenance >Detail Control(RM/RCP)

Note

When upgrading the firmware of the unit from a version prior to 5.0 to version 5.0 or later, the existing Detail menu settings are applied to Detail(HD), but not to Detail(QFHD). Configure Detail(QFHD) settings manually.

White balance function improvements

The correction method for color reproduction due to changes in white balance has been improved.

Related menu items

Paint >Tracing Matrix
– Type A: Method for version 4.12 and earlier
– Type B: Improvements to correction method relative to Type A (default setting)

Focus magnifier (Focus Mag) mode display function improvements

Improved visibility of focus magnification (Focus Mag) to avoid erroneous operation.

HDR function name change

The name of a Paint >HDR Paint Setting menu item and settings have been changed.

Related menu items

Paint >HDR Paint Setting >HLG Look

- Natural: Characteristic conforming to ITU-R BT.2100(HLG)
- Live: Characteristic conforming to ITU-R BT.2100(HLG) with larger HDR effect (default setting)

“SR Live for HDR” metadata support

SDR Gain and other key parameters can now be recorded simultaneously to a file as metadata. These key parameters can be also be embedded in the SDI output.

The use of metadata enables more consistent solutions from Live camera production through to file processing in post production.

File transfer supported from the thumbnail screen

Original files and proxy files for transfer can now be selected on the thumbnail screen of the unit.

Related menu items

Thumbnail >Transfer Clip
Thumbnail >Transfer Clip(Proxy)

Certification update menu support

Network Client Mode certificates can now be imported using the web menu.

Sony Ci certificates can also now be imported using Upload Settings in the web menu.

For details about certificates, contact your Sony sales representative.

Related menu items

- System Settings >Network Client Mode Settings in the web menu
- “Sony Ci” setup screen accessed from Upload Settings in the web menu

Password security enhancements

Passwords used for basic authentication now must be 8 characters or longer and contain at least one alphabetic character and one numeric character, respectively, for enhanced security.

Related menu items

Maintenance >Basic Authentication >Password

Note

The password setting is reset when upgrading the firmware of the unit from a version prior to 5.0 to version 5.0 or later. In this case, reconfigure the password.

Other

Stability of recording and startup operations has been improved.

Major Functions Updated in V4.12

- At Proxy File Auto Upload, the newly added file is transferred preferentially over the file with transfer error.
- Improvement of the stability of the recording operation.

Major Functions Updated in V4.11

The recording cannot be performed when the leap day (February 29th) in the date setting of the unit is set. This symptom is improved.

Major Functions Updated in V4.10

Compatible with QD-G120F and QD-G240F XQD memory cards

QD-G120F and QD-G240F have been added to the XQD memory card lineup, which can be used with the camcorder. The XQD ExpressCard adapter (QDA-EX1) is required to use an XQD memory card.

Major Functions Updated in V4.01

SDI Quad Link 2SI Level-A output support

In 3840×2160 59.94P (50P) operation, SDI Quad Link 2-Sample Interleave (2SI) Level-A 59.94P (50P) output is now supported, in addition to Square division Level-B output.

Related menu items

Operation >Input/Output >Output Format

Note

A separate CBKZ-Z450QL Upgrade License is required. The upgrade license is installed using Maintenance >Option in the setup menu.

Interval Rec function support during 4K (QFHD) recording

The Interval Rec function is now supported during 4K (QFHD) recording.

Related menu items

Operation >Rec Function >Interval Rec

S-Gamut3/S-Gamut3.Cine color space support

S-Gamut3/S-Gamut3.Cine are supported for selection as the color space when shooting using S-Log3.

Related menu items

The following settings under Operation >HDR Setting >S-Log Color Space:

BT.2020
S-Gamut3(3200K)
S-Gamut3(4300K)
S-Gamut3(5500K)
S-Gamut3.Cine(3200K)
S-Gamut3.Cine(4300K)
S-Gamut3.Cine(5500K)

Support for Pure mode for ATW (auto tracing white balance)

Support added for Pure mode which, in comparison with the existing mode (Natural), automatically adjusts the white balance to obtain a result closer to primary colors without residual bluish or reddish colors.

Related menu items

Operation >White Setting >ATW Mode

Natural: Adjusts white balance to obtain a natural ambience.
Pure: Adjusts balance that is closer to primary colors.

Slow & Quick Motion assignable switch registration

The Slow & Quick Motion on/off setting in the setup menu can now be switched using an assignable switch. It can be registered in assignable switch 1, 3, 4, 5, or the ONLINE button.

Related menu items

Operation >Rec Function >Slow & Quick Motion
Operation >Assignable SW

Loading of planning metadata from an SDXC card

Planning metadata can now be loaded from SDXC cards using an optional MEAD-SD02 Media Adaptor.

Related menu items

Operation >Planning Metadata

Note

SD/SDHC cards cannot be used.

Function improvements in network client mode

The performance of high-quality streaming using Sony QoS Technology has been improved.

In addition, the following operations are now supported using the Connection Control Manager.

- Proxy recording on/off
- Camera remote control and ALL file operations

Related menu items

Maintenance >Network Client Mode >Preset1/2/3

NCM with Proxy

Camera Control

Camera Setting

Improvements to Flash Band Reduce function

Improvements have been made to the Flash Band Reduce function.

Major Functions Updated in V3.00

High Dynamic Range (HDR) support

Hybrid Log Gamma (HLG) and S-Log3 is supported to enable shooting with expanded dynamic range.

The two following types of HLG are available.

- HLG_BT.2100: HLG curve based on ITU-R BT.2100(HLG)
- HLG_Live: HLG curve based on ITU-R BT.2100(HLG) that delivers improved HDR performance (default setting)

When HDR is selected, the color space is expanded to ITU-R BT.2020 equivalent.

Related menu items

- Operation >Base Setting
- Operation >HDR Setting
- Paint >HDR Paint Setting
- Paint >Gamma(HDR)

Note

HDR settings are enabled when the file system is exFAT and the recording format is 4K (QFHD) or HD.

HLG display assist function

When shooting in HDR using HLG, this function automatically adjusts the image displayed in the viewfinder and LCD monitor so that it is similar to an HDR compatible display.

You can turn the "HLG Display Assist" function on/off, as required, by assigning the function to an assignable switch.

Note

This function is applied to the image in the viewfinder and LCD monitor. It is not applied to the recorded image or output image.

Enhanced noise suppression function

A [Super] option has been added that provides stronger noise suppression than the [High] setting.

Also, a gain link mode has been added to link the level with the gain setting.

Related menu items

Paint >Noise Suppression >Level

Paint >Noise Suppression >Gain Link

Picture Cache Rec function support when recording at 4K (QFHD)

The Picture Cache Rec function is supported when recording at 4K (QFHD).

- 0 to 2 seconds in XAVC-I QFHD (29.97P or lower)
- 0 to 8 seconds in XAVC-L QFHD (59.94P/50P)
- 0 to 12 seconds in XAVC-L QFHD (29.97P or lower)

Note

The Picture Cache Rec function cannot be used at the same time with any other special recording function.

Slow & Quick Motion function support when recording at 4K (QFHD)

The Slow & Quick Motion function is supported at 1 FPS to 60 FPS speeds when recording in XAVC-I QFHD or XAVC-L QFHD.

Note

The Slow & Quick Motion function cannot be used at the same time with any other special recording function.

Improved focus magnifier function

Higher definition magnified view, compared with the existing focus magnifier function, is supported when using an HDVF-EL20/EL30 series viewfinder and the recording format is set to 4K (QFHD).

This function is used by assigning "Focus Magnifier" to an assignable switch.

SDHC memory card (FAT) support

In addition to SDXC memory cards, SDHC memory cards are now supported SD cards that can be used with the optional MEAD-SD02 Media Adaptor.

Notes

- SDHC memory cards are supported only when the file system is FAT and the recording format is MPEG HD420 (HQ/SP).
- The FAT file system is supported on SDHC memory cards only.

Configuration settings for connection to Wi-Fi station

Wireless LAN access point (Wi-Fi station) connection settings can now be configured from the setup menu of the unit, not just from the web menu.

Related menu items

Maintenance >Network >Wi-Fi Station Detail Settings

Network client mode multiple registration

Up to three network client mode settings can now be registered.

Related menu items

Maintenance >Network Client Mode >Preset 1 to Preset 3

XAVC Proxy Rec Mode assignable switch registration

Operation >XAVC Proxy Rec Mode >Setting in the setup menu can now be switched using an assignable switch. This enables switching of proxy recording when in network client mode without using the menu.

Improved integration with digital wireless receivers

The power saving function of Sony DWR-S01D/S02D/S02DN Digital Wireless Receivers can now be controlled from the camcorder.

- The “TX Power Save” function can be assigned to an assignable switch.
- The power saving function of the digital wireless receiver can be linked to the operation of the power switch of the camcorder.
- The status of the digital wireless receiver in power saving mode is displayed in the viewfinder and LCD monitor.

Related menu items

Maintenance >WRR Setting >TX Power Save

Maintenance >WRR Setting >TX-Cam Power Sync

Note

The firmware version of the Sony digital wireless receiver required for support is given below.
DWR-S01D V1.16 or later, S02D V1.07 or later, S02DN V1.12 or later

Major Functions Updated in V2.00

1-slot simultaneous recording support

When recording in XAVC-I 3840×2160P or XAVC-L 3840×2160P, MPEG HD422 can also be recorded as a subclip. Set Operation >Rec Function >4K & HD (Sub) Rec in the setup menu to On to enable the function.

Copy a subclip to media as a main clip

You can copy a subclip created using 1-slot Simul Rec and save it as a main clip on other media.

Formatting while recording

Even while recording, the SxS memory card loaded in the other card slot can now be formatted.

Notes

- Formatting is not supported during 1-slot Simul Rec, during playback, or when the thumbnail screen is displayed.
- During formatting, recording to the other SxS memory card cannot be started.

SDI Quad Link output support

During 3840×2160 59.94P (50P) operation, 59.94P (50P) Quad Link (Square division) output is now supported using four SDI connectors.

Note

The CBKZ-Z450QL Upgrade License is required separately. Install the Upgrade License using Maintenance >Option in the setup menu.

XDCAM air support

High-quality streaming is now supported by connecting the camcorder to XDCAM air.

Note


XDCAM air is a cloud service that is provided by Sony. To use this service, registration is required. XDCAM air is not provided in some regions. For details on areas where the service is provided, refer to the following site.
<https://www.xdcam-air.com>
For details about the XDCAM air privacy policy, visit the following sites.

- Terms of service
https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html
 - XDCAM air privacy policy
<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>
 - Professional ID privacy policy
<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>
- For more details, contact Sony professional sales representative.

Transfer of planning metadata files

Planning metadata files can now be transferred by setting “Auto upload (Proxy).”

Web menu

“OSS Information” has been added to the menu items displayed by tapping  at the top left of the web menu screen.

Français

Fonctions principales mises à jour dans la V6.01

Précautions lors d'une mise à niveau

Lors d'une mise à niveau, suivez les étapes décrites dans le guide de mise à niveau (4-724-330-22(1)).

Amélioration de la vitesse de transfert du fichier FTP

La vitesse de transfert maximale lors du téléchargement des plans originaux enregistrés sur l'appareil via FTP, a été augmentée.

Remarque

La réduction de la durée du téléchargement dépend de l'environnement du réseau.

Éléments de menu associés

Maintenance >File Transfer

Fonctions principales mises à jour dans la V6.00

Prise en charge de S-Log3 en mode d'enregistrement HD

HDR(S-Log3) peut désormais être sélectionné lorsque le format d'enregistrement est réglé sur HD.

* Pour 1-slot Simul Rec, HDR(S-Log3) peut être sélectionné uniquement lorsque 4K(QFHD) Rec/Out est réglé sur HDR(S-Log3).

Éléments de menu associés

Operation >HDR Setting >HD Rec/Out

Améliorations de la fonction HLG Look

« Mild » a été ajouté aux options de HLG Look. Avec le réglage sur Mild, il est possible de sélectionner une caractéristique conforme à ITU-R BT.2100(HLG) qui délivre une qualité d'image globalement plus douce que Live.

Éléments de menu associés

Paint >HDR Paint Setting >HLG Look

Ajout de la fonction HDR Black Compression

Une fonction HDR Black Compression a été ajoutée. La fonction règle le niveau de noir de la vidéo HDR pour qu'il corresponde à celui de la vidéo SDR.

Éléments de menu associés

Paint >HDR Paint Setting >HDR Black Compression

Améliorations de la modulation du mode d'enregistrement HD

Il est désormais possible de sélectionner une caractéristique haute résolution qui tire parti du suréchantillonnage QFHD.

Éléments de menu associés

Maintenance >Camera Config >HD Modulation

- High : caractéristique haute résolution
- Normal : caractéristique conventionnelle

Autre

La fonction réseau a été améliorée. La sécurité réseau a été renforcée.

Remarque

Lorsque Wi-Fi Mode est réglé sur Wi-Fi Access Point, le mot de passe ne doit pas être utilisé tel quel. Utilisez un mot de passe en suivant la procédure suivante.

- 1 Réglez Maintenance >Network >Setting sur On.
- 2 Réglez Maintenance >Network >Wi-Fi Mode sur Wi-Fi Access Point.
- 3 Exécutez Maintenance >Network >Regenerate Password.

Fonctions principales mises à jour dans la V5.01

Le problème de la mise hors tension non intentionnelle de l'appareil lors de l'utilisation de certains appareils connectés a été résolu.

Fonctions principales mises à jour dans la V5.00

Prise en charge de la fonction Last Clip Delete

Le dernier plan enregistré peut désormais être supprimé à l'aide d'un commutateur personnalisable attribué avec la fonction Last Clip Delete.

Éléments de menu associés

Operation >Assignable Switch

Expansion de la fonction Picture Cache Rec

La fonction d'enregistrement en cache d'images prend désormais en charge jusqu'à 2 secondes d'enregistrement en cache en mode 1-slot Simul Rec aux formats XAVC-L QFHD et MPEG HD422.

Éléments de menu associés

- Operation >Rec Function >Picture Cache Rec
- Operation >Rec Function >4K & HD(Sub) Rec

Prise en charge de la fonction de lecture d'enregistrement en sous-plan (HD)

La fonction de lecture est prise en charge pour les sous-plans (HD) enregistrés en mode 1-slot Simul Rec.

Éléments de menu associés

Operation >Rec Function > HD(Sub) Playback Mode

Prise en charge des réglages Detail séparés pour plusieurs résolutions

Le réglage Detail peut désormais être configuré séparément pour la QFHD et la HD.

Des commandes séparées pour la QFHD et la HD sont également prises en charge via le fonctionnement par télécommande.

Éléments de menu associés

- Paint >Detail(QFHD)
- Paint >Detail(HD)
- Maintenance >Detail Control(RM/RCP)

Remarque

Lors de la mise à niveau du micrologiciel de l'appareil d'une version inférieure à 5.0 à la version 5.0 ou supérieure, les réglages du menu Detail existant sont appliqués à Detail(HD), mais pas à Detail(QFHD). Configurez les réglages Detail(QFHD) manuellement.

Amélioration de la fonction de balance des blancs

La méthode de correction pour la reproduction des couleurs suite aux changements dans la balance des blancs a été améliorée.

Éléments de menu associés

Paint >Tracing Matrix

- Type A : méthode pour version 4.12 et antérieure
- Type B : amélioration de la méthode de correction relative au Type A (réglage par défaut)

Améliorations de la fonction d'affichage en mode d'agrandissement de mise au point (Focus Mag)

Amélioration de la visibilité de l'agrandissement de la mise au point (Focus Mag) pour éviter les opérations erronées.

Changement de nom de la fonction HDR

Le nom d'un élément de menu Paint >HDR Paint Setting et les réglages ont été changés.

Éléments de menu associés

Paint >HDR Paint Setting >HLG Look

- Natural : caractéristique en conformité avec ITU-R BT.2100(HLG)
- Live : caractéristique en conformité avec ITU-R BT.2100(HLG) avec effet HDR plus vaste (réglage par défaut)

Prise en charge des métadonnées « SR Live for HDR »

Le gain SDR et d'autres paramètres clés peuvent désormais être enregistrés simultanément dans un fichier sous forme de métadonnées. Ces paramètres clés peuvent également être intégrés dans la sortie SDI.

L'utilisation de métadonnées permet d'obtenir des solutions plus cohérentes, de la production de caméras en direct jusqu'au traitement des fichiers en post-production.

Transfert de fichiers pris en charge à partir de l'écran des miniatures

Les fichiers originaux et les fichiers proxy à transférer peuvent désormais être sélectionnés sur l'écran des miniatures de l'appareil.

Éléments de menu associés

Thumbnail >Transfer Clip
Thumbnail >Transfer Clip(Proxy)

Prise en charge du menu de mise à jour de la certification

Les certificats en Network Client Mode peuvent désormais être importés à l'aide du menu Web.

Les certificats Sony Ci peuvent également être importés à l'aide de Upload Settings dans le menu Web.

Pour plus de détails sur les certificats, contactez votre représentant Sony.

Éléments de menu associés

- System Settings >Network Client Mode Settings dans le menu Web
- L'écran de configuration « Sony Ci » est accessible à partir de Upload Settings dans le menu Web

Améliorations de la sécurité des mots de passe

Les mots de passe utilisés pour l'authentification de base doivent désormais comporter 8 caractères ou plus et contenir au moins un caractère alphabétique et un caractère numérique, respectivement, pour une sécurité renforcée.

Éléments de menu associés

Maintenance >Basic Authentication >Password

Remarque

Le réglage du mot de passe est réinitialisé lors de la mise à niveau du micrologiciel de l'appareil d'une version inférieure à 5.0 à une version 5.0 ou supérieure. Dans ce cas, reconfigurez le mot de passe.

Autre

La stabilité des opérations d'enregistrement et de démarrage a été améliorée.

Fonctions principales mises à jour dans la V4.12

- Lorsque les fichiers proxy sont automatiquement chargés, le transfert des fichiers nouvellement ajoutés devient prioritaire sur les fichiers avec erreur de transfert.
- La stabilité de l'opération d'enregistrement a été améliorée.

Fonctions principales mises à jour dans la V4.11

Le problème où l'enregistrement n'a pas eu lieu à cause de la configuration d'une journée bissextile (29 février) dans Date du menu de configuration de l'appareil a été résolu.

Fonctions principales mises à jour dans la V4.10

Compatible avec les cartes mémoire XQD QD-G120F et QD-G240F

QD-G120F et QD-G240F ont été ajoutés à la gamme de cartes mémoire XQD, qui peuvent être utilisées avec le caméscope. L'adaptateur XQD ExpressCard (QDA-EX1) est requis pour utiliser une carte mémoire XQD.

Fonctions principales mises à jour dans la V4.01

Prise en charge de la sortie SDI Quad Link 2SI Level-A

Lors d'une opération en 3840x2160 59.94P (50P), la sortie SDI Quad Link 2-Sample Interleave (2SI) Level-A 59.94P (50P) est désormais prise en charge, en plus de la sortie Square division Level-B.

Éléments de menu associés

Operation >Input/Output >Output Format

Remarque

Une licence de mise à niveau CBKZ-Z450QL spécifique est requise.

La licence de mise à niveau s'installe depuis Maintenance >Option dans le menu de configuration.

Prise en charge de la fonction d'enregistrement par intervalles lors d'un enregistrement 4K (QFHD)

La fonction d'enregistrement par intervalles est désormais prise en charge lors d'un enregistrement 4K (QFHD).

Éléments de menu associés

Operation >Rec Function >Interval Rec

Prise en charge de l'espace de couleurs S-Gamut3/S-Gamut3.Cine

S-Gamut3/S-Gamut3.Cine sont pris en charge pour la sélection comme espace de couleurs lors de la prise de vue à l'aide de S-Log3.

Éléments de menu associés

Les réglages suivants se trouvent dans Operation >HDR Setting >S-Log Color Space :

BT.2020
S-Gamut3(3200K)
S-Gamut3(4300K)
S-Gamut3(5500K)
S-Gamut3.Cine(3200K)
S-Gamut3.Cine(4300K)
S-Gamut3.Cine(5500K)

Prise en charge du mode Pure pour ATW (balance des blancs à suivi automatique)

Prise en charge ajoutée au mode Pure qui, par rapport au mode existant (Natural), ajuste automatiquement la balance des blancs afin d'obtenir un résultat plus proche des couleurs primaires sans couleurs rougeâtres ou bleuâtres résiduelles.

Éléments de menu associés

Operation >White Setting >ATW Mode

Natural : ajuste la balance des blancs afin d'obtenir une ambiance naturelle.

Pure : ajuste la balance le plus proche des couleurs primaires.

Enregistrement du commutateur attribuable de Slow & Quick Motion

Le réglage d'activation/désactivation de Slow & Quick Motion dans le menu de configuration peut être activé à l'aide d'un commutateur attribuable.

Il peut être enregistré sur l'un des commutateurs attribuables 1, 3, 4, 5 ou sur la touche ONLINE.

Éléments de menu associés

Operation >Rec Function >Slow & Quick Motion
Operation >Assignable SW

Chargement de métadonnées de planification à partir d'une carte SDXC

Les métadonnées de planification peuvent maintenant être chargées à partir de cartes SDXC en utilisant un adaptateur de support MEAD-SD02 optionnel.

Éléments de menu associés

Operation >Planning Metadata

Remarque

Les cartes SD/SDHC ne peuvent pas être utilisées.

Améliorations fonctionnelles en mode client réseau

La performance de lecture en transit haute qualité à l'aide de la technologie Sony QoS a été améliorée.

De plus, les opérations suivantes sont maintenant prises en charge depuis le Connection Control Manager.

- Activation/désactivation de l'enregistrement proxy
- Commande à distance de la caméra et opérations du fichier ALL

Éléments de menu associés

Maintenance >Network Client Mode >Preset1/2/3
NCM with Proxy
Camera Control
Camera Setting

Améliorations de la fonction Flash Band Reduce

Des améliorations ont été apportées à la fonction Flash Band Reduce.

Fonctions principales mises à jour dans la V3.00

Prise en charge de High Dynamic Range (HDR)

Hybrid Log Gamma (HLG) et S-Log3 sont pris en charge afin de permettre la prise de vue avec gamme dynamique étendue.

Les deux types de HLG suivants sont disponibles.

- HLG_BT.2100 : courbe HLG basée sur ITU-R BT.2100 (HLG)
- HLG_Live : courbe HLG basée sur ITU-R BT.2100(HLG), offrant des performances HDR améliorées (réglage par défaut)

Lorsque HDR est sélectionné, l'espace de couleur est étendu à une équivalence ITU-R BT.2020.

Éléments du menu associés

- Operation >Base Setting
- Operation >HDR Setting
- Paint >HDR Paint Setting
- Paint >Gamma(HDR)

Remarque

Les réglages HDR sont activés lorsque le système de fichier est exFAT et le format d'enregistrement est 4K (QFHD) ou HD.

Réglage de la fonction HLG Display Assist

Lors de la prise de vue en HDR à l'aide de HLG, cette fonction ajuste automatiquement l'image affichée dans le viseur et le moniteur LCD pour qu'elle soit similaire à un affichage compatible avec HDR.

Vous pouvez activer/désactiver la fonction « HLG Display Assist », si nécessaire, en attribuant la fonction à un commutateur attribuable.

Remarque

Cette fonction est appliquée à l'image du viseur et du moniteur LCD. Elle n'est pas appliquée à l'image enregistrée ou à l'image de sortie.

Fonction de suppression de bruit améliorée

Une option [Super] fournissant une meilleure suppression du bruit que le réglage [High] a été ajoutée.

De même, le mode de liaison de gain a été ajouté afin de relier le niveau avec le réglage de gain.

Éléments du menu associés

Paint >Noise Suppression >Level
Paint >Noise Suppression >Gain Link

Prise en charge de la fonction Picture Cache Rec lors de l'enregistrement 4K (QFHD)

La fonction Picture Cache Rec est prise en charge lors de l'enregistrement 4K (QFHD).

- 0 à 2 secondes en XAVC-I QFHD (29.97P ou inférieur)
- 0 à 8 secondes en XAVC-L QFHD (59.94P/50P)
- 0 à 12 secondes en XAVC-L QFHD (29.97P ou inférieur)

Remarque

La fonction Picture Cache Rec ne peut pas être utilisée en même temps qu'une autre fonction d'enregistrement spécial.

Prise en charge de la fonction Slow & Quick Motion lors de l'enregistrement 4K (QFHD)

La fonction Slow & Quick Motion est prise en charge à des vitesses de 1 FPS à 60 FPS lors de l'enregistrement XAVC-I QFHD ou XAVC-L QFHD.

Remarque

La fonction Slow & Quick Motion ne peut pas être utilisée en même temps qu'une autre fonction d'enregistrement spécial.

Fonction d'agrandissement de mise au point améliorée

Une meilleure vue haute définition agrandie, par rapport à la fonction d'agrandissement de mise au point existante, est prise en charge lors de l'utilisation d'un viseur de série HDVF-EL20/EL30 et si le format d'enregistrement est réglé sur 4K (QFHD). Cette fonction est utilisée en attribuant « Focus Magnifier » à un commutateur attribuable.

Prise en charge (FAT) de carte mémoire SDHC

En plus des cartes mémoire SDXC, les cartes mémoire SDHC sont maintenant des cartes SD prises en charge qui peuvent être utilisées avec l'adaptateur de support MEAD-SD02 en option.

Remarques

- Les cartes mémoire SDHC sont prises en charge uniquement lorsque le système de fichier est FAT et le format d'enregistrement est MPEG HD420 (HQ/SP).
- Le système de fichier FAT est pris en charge sur les cartes mémoire SDHC uniquement.

Réglages de configuration pour la connexion à une station Wi-Fi

Les réglages de la connexion au point d'accès LAN sans fil (station Wi-Fi) peuvent maintenant être configurés à partir du menu de configuration de l'appareil, pas seulement à partir du menu Web.

Éléments du menu associés

Maintenance >Network >Wi-Fi Station Detail Settings

Plusieurs enregistrements du mode client réseau

Jusqu'à trois réglages du mode client réseau peuvent maintenant être enregistrés.

Éléments du menu associés

Maintenance >Network Client Mode >Preset 1 à Preset 3

Enregistrement du commutateur attribuable du mode XAVC Proxy Rec

Operation >XAVC Proxy Rec Mode >Setting dans le menu de configuration peut maintenant être commuté en utilisant le commutateur attribuable.

Ceci permet de commuter l'enregistrement proxy en mode client réseau sans passer par le menu.

Intégration avec les récepteurs numériques sans fil améliorée

La fonction d'économie d'énergie des récepteurs numériques sans fil Sony DWR-S01D/S02D/S02DN peut maintenant être commandée à partir du caméscope.

- La fonction « TX Power Save » peut être attribuée à un commutateur attribuable.
- La fonction d'économie d'énergie des récepteurs numériques sans fil peut être reliée au fonctionnement du commutateur d'alimentation du caméscope.
- L'état du récepteur numérique sans fil en mode d'économie d'énergie est affiché dans le viseur et le moniteur LCD.

Éléments du menu associés

Maintenance >WRR Setting >TX Power Save

Maintenance >WRR Setting >TX-Cam Power Sync

Remarque

La version du firmware du récepteur numérique sans fil Sony nécessaire pour la prise en charge est indiquée ci-dessous. DWR-S01D V1.16 ou ultérieur, S02D V1.07 ou ultérieur, S02DN V1.12 ou ultérieur

Fonctions principales mises à jour dans la V2.00

Support d'enregistrement simultané 1 logement

Lors de l'enregistrement au format XAVC-I 3840x2160P ou XAVC-L 3840x2160P, MPEG HD422 peut également être enregistré en tant que sous-plan.

Réglez Operation >Rec Function >4K & HD (Sub) Rec dans le menu de configuration sur On pour activer la fonction.

Copie d'un sous-plan sur un support en tant de plan principal

Vous pouvez copier un sous-plan créé en utilisant 1-slot Simul Rec et le sauvegarder en tant que plan principal sur un autre support.

Formatage pendant l'enregistrement

Même pendant l'enregistrement, la carte mémoire SxS chargée dans l'autre logement de carte peut désormais être formatée.

Remarques

- Le formatage n'est pas pris en charge pendant la fonction 1-slot Simul Rec ou lorsque l'écran de miniatures est affiché.
- Pendant le formatage, l'enregistrement sur une autre carte mémoire SxS ne peut pas être lancé.

Support de sortie SDI Quad Link

Pendant le fonctionnement en 3840x2160 59.94P (50P), la sortie 59.94P (50P) Quad Link (Square division) est désormais prise en charge par les quatre connecteurs SDI.

Remarque

La licence de mise à niveau CBKZ-Z450QL est requise séparément.

Installez la licence de mise à niveau en utilisant Maintenance >Option dans le menu de configuration.

Prise en charge de XDCAM air

La lecture en transit de haute qualité est désormais prise en charge en connectant le caméscope à XDCAM air.

Remarque

XDCAM air est un service en nuage fourni par Sony.

Une inscription est requise pour utiliser ce service.

XDCAM air n'est pas fourni dans certaines régions. Pour plus de détails sur les zones dans lesquelles le service est fourni, rendez-vous sur le site suivant.

<https://www.xdcam-air.com>

Pour plus de détails sur la politique de confidentialité de XDCAM air, visitez les sites suivants.

– Modalités de service

https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html

– Politique de confidentialité de XDCAM air

<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>

– Politique de confidentialité de Professional ID


<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>

Pour plus de détails, contactez votre représentant commercial professionnel Sony.

Transfert de fichiers de métadonnées de planification

Les fichiers de métadonnées de planification peuvent désormais être transférés en réglant « Auto upload (Proxy) ».

Menu Web

« OSS Information » a été ajouté aux éléments de menu affichés en appuyant sur  en haut à gauche de l'écran de menu Web.

Deutsch

Wichtige in V6.01 aktualisierte Funktionen

Vorsichtsmaßnahmen bei der Aktualisierung

Halten Sie bei der Aktualisierung die in der Aktualisierungsanleitung (4-724-330-32(1)) beschriebene Schrittfolge ein.

Verbesserung der Geschwindigkeit der FTP-Dateiübertragung

Die maximale Übertragungsgeschwindigkeit beim Hochladen von auf dem Gerät aufgenommenen Originalclips über FTP wurde erhöht.

Hinweis

Die Verkürzung der Hochladezeit hängt von der Netzwerkumgebung ab.

Verwandte Menüpunkte

Maintenance >File Transfer

Wichtige in V6.00 aktualisierte Funktionen

Unterstützung für S-Log3 im HD-Aufzeichnungsmodus

Wenn das Aufnahmeformat HD eingestellt ist, kann jetzt HDR(S-Log3) ausgewählt werden.

* Bei 1-Slot Simul Rec kann HDR(S-Log3) nur ausgewählt werden, wenn Option „4K(QFHD) Rec/Out“ auf „HDR(S-Log3)“ eingestellt ist.

Verwandte Menüpunkte

Operation >HDR Setting >HD Rec/Out

Verbesserungen der Funktion HLG Look

Neue Option „Mild“ in „HLG Look“.

Die Einstellung „Mild“ bewirkt eine Charakteristik entsprechend ITU-R BT.2100(HLG), die eine Bildqualität mit insgesamt geringerer Verbesserung als „Live“ bietet.

Verwandte Menüpunkte

Paint >HDR Paint Setting >HLG Look

Funktion „HDR Black Compression“ hinzugefügt

Die Funktion „HDR Black Compression“ wurde hinzugefügt. Die Funktion stellt den Schwarzwert des HDR-Videos so ein, dass er mit dem des SDR-Videos übereinstimmt.

Verwandte Menüpunkte

Paint >HDR Paint Setting >HDR Black Compression

Verbesserungen der Modulation im HD-Aufnahmemodus

Eine Charakteristik mit hoher Auflösung, die QFHD-Oversampling nutzt, kann jetzt ausgewählt werden.

Verwandte Menüpunkte

Maintenance >Camera Config >HD Modulation
– High: Hochauflösende Charakteristik
– Normal: Herkömmliche Charakteristik

Sonstiges

Die Netzwerkfunktion wurde verbessert.
Die Netzwerksicherheit wurde gestärkt.

Hinweis

Wenn Wi-Fi Mode auf Wi-Fi Access Point eingestellt ist, sollte das Kennwort nicht unverändert verwendet werden. Verwenden Sie ein mit dem folgenden Verfahren generiertes Kennwort.

- 1 Setzen Sie „Maintenance >Network >Setting“ auf „On“.
- 2 Setzen Sie „Maintenance >Network >Wi-Fi Mode“ auf „Wi-Fi Access Point“.
- 3 Führen Sie „Maintenance >Network >Regenerate Password“ aus.

Wichtige in V5.01 aktualisierte Funktionen

Es wurde ein Problem beseitigt, bei dem sich das Gerät unbeabsichtigt ausgeschaltet hat, sobald einige angeschlossene Geräte verwendet wurden.

Wichtige in V5.00 aktualisierte Funktionen

Unterstützung der Funktion Last Clip Delete

Der zuletzt aufgenommene Clip kann nun mithilfe eines belegbaren Schalters gelöscht werden, dem die Funktion Last Clip Delete zugewiesen wurde.

Verwandte Menüpunkte

Operation >Assignable Switch

Erweiterung der Funktion Picture Cache Rec

Die Funktion Picture Cache Rec unterstützt nun bis zu zwei Sekunden Vorabaufnahme im Modus 1-Slot Simul Rec in den Formaten XAVC-L QFHD und MPEG HD422.

Verwandte Menüpunkte

- Operation >Rec Function >Picture Cache Rec
- Operation >Rec Function >4K & HD(Sub) Rec

Unterstützung der Wiedergabefunktion für Subclip-Aufnahme (HD)

Die Wiedergabefunktion wird für Subclips (HD) unterstützt, die im Modus 1-Slot Simul Rec aufgenommen wurden.

Verwandte Menüpunkte

Operation >Rec Function >HD(Sub) Playback Mode

Unterstützung von separaten Detailsinstellungen für verschiedene Auflösungen

Detail kann nun für QFHD und HD einzeln konfiguriert werden. Außerdem werden einzelne Steuerelemente für QFHD und HD beim Betrieb über Fernbedienung unterstützt.

Verwandte Menüpunkte

- Paint >Detail(QFHD)
- Paint >Detail(HD)
- Maintenance >Detail Control(RM/RCP)

Hinweis

Wenn die Gerätefirmware von einer Version vor 5.0 auf Version 5.0 oder später aktualisiert wird, werden die vorhandenen Einstellungen des Menüs „Detail“ für „Detail(HD)“ übernommen, nicht jedoch für „Detail(QFHD)“. Konfigurieren Sie die Einstellungen für „Detail(QFHD)“ manuell.

Funktionsverbesserungen beim Weißabgleich

Die Methode zur Korrektur der Farbwiedergabe aufgrund von Änderungen beim Weißabgleich wurde verbessert.

Verwandte Menüpunkte

Paint >Tracing Matrix

- Type A: Methode für Version 4.12 und früher
- Type B: Verbesserungen an der Korrekturmethode im Vergleich zu Type A (Standardeinstellung)

Funktionsverbesserungen bei der Anzeige im Fokusvergrößerungsmodus

Die Erkennbarkeit der Fokusvergrößerung (Focus Mag) wurde verbessert, um Fehlbedienung zu vermeiden.

Namensänderung bei HDR-Funktion

Name und Einstellungen des Menüpunkts Paint >HDR Paint Setting wurden geändert.

Verwandte Menüpunkte

Paint >HDR Paint Setting >HLG Look

- Natural: Charakteristik entsprechend ITU-R BT.2100(HLG)
- Live: Charakteristik entsprechend ITU-R BT.2100(HLG) mit verbessertem HDR-Effekt (Standardeinstellung)

Unterstützung für „SR Live for HDR“-Metadaten

SDR Gain und andere wichtige Parameter können jetzt gleichzeitig als Metadaten in einer Datei aufgezeichnet werden. Diese Schlüsselparameter können auch in die SDI-Ausgabe eingebettet werden.

Die Verwendung von Metadaten ermöglicht konsistentere Lösungen von der Live-Kameraproduktion bis zur Dateiverarbeitung in der Postproduktion.

Unterstützung für Dateiübertragung von der Miniaturbildansicht aus

Originaldateien und Proxydateien können nun in der Miniaturbildansicht des Geräts zur Übertragung ausgewählt werden.

Verwandte Menüpunkte

Thumbnail >Transfer Clip
Thumbnail >Transfer Clip(Proxy)

Menüunterstützung für Zertifizierungsaktualisierung

Zertifikate für den Network Client Mode können jetzt über das Webmenü importiert werden.

Auch Sony Ci-Zertifikate können jetzt über Upload Settings im Webmenü importiert werden.

Weitere Informationen zu Zertifikaten erhalten Sie von Ihrer Sony-Vertriebsvertretung.

Verwandte Menüpunkte

- System Settings >Network Client Mode Settings im Webmenü
- Der Bildschirm für die Einrichtung von „Sony Ci“ kann über Upload Settings im Webmenü aufgerufen werden

Verbesserte Passwortsicherheit

Für die Basisauthentifizierung verwendete Kennwörter müssen jetzt mindestens 8 Zeichen lang sein und zur Erhöhung der Sicherheit mindestens einen Buchstaben sowie mindestens eine Ziffer enthalten.

Verwandte Menüpunkte

Maintenance >Basic Authentication >Password

Hinweis

Die Kennworteinstellung wird zurückgesetzt, wenn die Gerätefirmware von einer Version vor 5.0 auf Version 5.0 oder später aktualisiert wird. Konfigurieren Sie in diesem Fall das Kennwort erneut.

Sonstiges

Die Stabilität der Aufzeichnungs- und Startvorgänge wurde verbessert.

Wichtige in V4.12 aktualisierte Funktionen

- Wenn Proxy-Dateien automatisch hochgeladen werden, hat die Übertragung von neu hinzugefügten Dateien Vorrang vor Dateien mit Übertragungsfehlern.
- Die Stabilität des Aufzeichnungsvorgangs wurde verbessert.

Wichtige in V4.11 aktualisierte Funktionen

Das Problem, dass die Aufzeichnung nicht durchgeführt werden konnte, wenn im Konfigurationsmenü des Gerätes für „Date“ ein Schalttag (29. Februar) eingestellt wurde, wurde behoben.

Wichtige in V4.10 aktualisierte Funktionen

Kompatibel mit den XQD-Speicherkarten QD-G120F und QD-G240F

Die QD-G120F und QD-G240F ergänzen das Sortiment an XQD-Speicherkarten, die mit dem Camcorder verwendet werden können. Der XQD ExpressCard-Adapter (QDA-EX1) ist erforderlich, um eine XQD-Speicherkarte nutzen zu können.

Wichtige in V4.01 aktualisierte Funktionen

Unterstützung für SDI Quad Link 2SI Level-A-Ausgabe

Beim Betrieb mit 3840×2160 59.94P (50P) wird nun zusätzlich zu Square Division Level-B-Ausgabe auch SDI Quad Link 2-Sample Interleave (2SI) Level-A 59.94P (50P)-Ausgabe unterstützt.

Zugehörige Menüpunkte

Operation >Input/Output >Output Format

Hinweis

Es ist eine gesonderte CBKZ-Z450QL-Upgradelizenz erforderlich.

Installieren Sie die Upgradelizenz im Konfigurationsmenü unter Maintenance >Option.

Unterstützung der Funktion Interval Rec bei Aufnahme mit 4K (QFHD)

Die Funktion Interval Rec wird bei Aufnahme mit 4K (QFHD) unterstützt.

Zugehörige Menüpunkte

Operation >Rec Function >Interval Rec

Unterstützung des Farbraums S-Gamut3/S-Gamut3.Cine

Bei Aufnahme mit S-Log3 sind nun als Farbraum S-Gamut3/S-Gamut3.Cine auswählbar.

Zugehörige Menüpunkte

Die folgenden Einstellungen unter Operation >HDR Setting

>S-Log Color Space:

BT.2020

S-Gamut3(3200K)

S-Gamut3(4300K)

S-Gamut3(5500K)

S-Gamut3.Cine(3200K)

S-Gamut3.Cine(4300K)

S-Gamut3.Cine(5500K)

Unterstützung des Pure-Modus bei ATW (automatische Weißwertanpassung)

Es wurde Unterstützung für den Pure-Modus hinzugefügt. Im Vergleich zum vorhandenen Modus (Natural) wird in diesem der Weißwert automatisch angepasst, um ein Ergebnis zu erzielen, das näher an den Grundfarben liegt und keine bläulichen oder rötlichen Reste aufweist.

Zugehörige Menüpunkte

Operation >White Setting >ATW Mode

Natural: Passt den Weißabgleich so an, dass eine natürliche Umgebung erzielt wird.

Pure: Passt den Weißabgleich so an, dass ein Ergebnis näher an den Primärfarben erzielt wird.

Slow & Quick Motion nun einem belegbaren Schalter zuweisbar

Die Funktion zur Aktivierung/Deaktivierung von Slow & Quick Motion im Konfigurationsmenü kann nun über einen belegbaren Schalter bedient werden.

Sie kann den belegbaren Schaltern 1, 3, 4, 5 oder der Taste ONLINE zugewiesen werden.

Zugehörige Menüpunkte

Operation >Rec Function >Slow & Quick Motion

Operation >Assignable SW

Laden von Planungsmetadaten von einer SDXC-Karte

Planungsmetadaten können nun mithilfe eines optionalen Medienadapters MEAD-SD02 von SDXC-Karten geladen werden.

Zugehörige Menüpunkte

Operation >Planning Metadata

Hinweis

SD/SDHC-Karten können nicht verwendet werden.

Funktionsverbesserungen im Netzwerkclientmodus

Die Leistung des Streaming mit hoher Qualität mithilfe von QoS-Technologie von Sony wurde gesteigert. Außerdem werden nun die folgenden Bedienvorgänge über den Connection Control Manager unterstützt.

- Proxy-Aufzeichnung ein- bzw. ausschalten
- Fernbedienung der Kamera und Vorgänge mit ALL-Dateien

Zugehörige Menüpunkte

Maintenance >Network Client Mode >Preset1/2/3

NCM with Proxy

Camera Control

Camera Setting

Verbesserungen der Funktion Flash Band Reduce

Es wurden Verbesserungen an der Funktion Flash Band Reduce vorgenommen.

Wichtige in V3.00 aktualisierte Funktionen

Unterstützung von High Dynamic Range (HDR)

Hybrid Log Gamma (HLG) und S-Log3 werden unterstützt, um Aufnahmen mit erweitertem Dynamikbereich zu ermöglichen. Die folgenden beiden Arten von HLG sind verfügbar.

- HLG_BT.2100: HLG-Kurve basierend auf ITU-R BT.2100(HLG)
- HLG_Live: HLG-Kurve basierend auf ITU-R BT.2100(HLG), die verbesserte HDR-Leistung liefert (Standardeinstellung)

Wenn Sie HDR auswählen, wird der Farbraum auf das ITU-R BT.2020-Äquivalent erweitert.

Zugehörige Menüpunkte

- Operation >Base Setting
- Operation >HDR Setting
- Paint >HDR Paint Setting
- Paint >Gamma(HDR)

Hinweis

HDR-Einstellungen sind verfügbar, wenn das Dateisystem exFAT und das Aufzeichnungsformat 4K (QFHD) oder HD ist.

Assist-Funktion für HLG-Anzeige

Bei der Aufnahme in HDR mit HLG wird durch diese Funktion automatisch das im Sucher und auf dem LCD-Monitor angezeigte Bild angepasst, sodass es einer HDR-kompatiblen Anzeige ähnlich ist.

Sie können die Funktion „HLG Display Assist“ je nach Bedarf ein-/ausschalten, indem Sie die Funktion einem belegbaren Schalter zuweisen.

Hinweis

Diese Funktion wird auf das Bild im Sucher und auf dem LCD-Monitor angewendet. Sie wird nicht auf das aufgezeichnete oder ausgegebene Bild angewendet.

Erweiterte Rauschunterdrückung

Es wurde eine Option [Super] hinzugefügt, die stärkere Rauschunterdrückung als die Einstellung [High] bietet.

Außerdem wurde ein Modus zur Verknüpfung der Verstärkung hinzugefügt, um den Pegel mit der Verstärkungseinstellung zu verbinden.

Zugehörige Menüpunkte

Paint >Noise Suppression >Level

Paint >Noise Suppression >Gain Link

Unterstützung der Funktion Picture Cache Rec bei Aufnahme mit 4K (QFHD)

Die Funktion Picture Cache Rec wird bei Aufnahme mit 4K (QFHD) unterstützt.

- 0 bis 2 Sekunden in XAVC-I QFHD (29.97P oder geringer)
- 0 bis 8 Sekunden in XAVC-L QFHD (59.94P/50P)
- 0 bis 12 Sekunden in XAVC-L QFHD (29.97P oder geringer)

Hinweis

Die Funktion Picture Cache Rec kann nicht gleichzeitig zusammen mit anderen Spezialaufnahmefunktionen verwendet werden.

Unterstützung von Slow & Quick Motion bei Aufnahme mit 4K (QFHD)

Die Funktion Slow & Quick Motion wird bei Bildraten von 1 bis 60 fps und Aufnahme in XAVC-I QFHD oder XAVC-L QFHD unterstützt.

Hinweis

Die Funktion Slow & Quick Motion kann nicht gleichzeitig zusammen mit anderen Spezialaufnahmefunktionen verwendet werden.

Verbesserte Fokusvergrößerung

Bei Verwendung eines Suchers HDVF-EL20/EL30 und des Aufzeichnungsformats 4K (QFHD) wird verglichen mit der vorhandenen Fokusvergrößerung eine Vergrößerungsansicht höherer Qualität unterstützt.

Diese Funktion wird verwendet, indem „Focus Magnifier“ einem belegbaren Schalter zugewiesen wird.

Unterstützung von SDHC-Speicherkarten (FAT)

Zusätzlich zu SDXC-Speicherkarten gehören nun auch SDHC-Speicherkarten zu den unterstützten SD-Karten, die mit dem optionalen Medienadapter MEAD-SD02 verwendet werden können.

Hinweise

- SDHC-Speicherkarten werden nur unterstützt, wenn das Dateisystem FAT und das Aufzeichnungsformat MPEG HD420 (HQ/SP) ist.
- Das FAT-Dateisystem wird nur auf SDHC-Speicherkarten unterstützt.

Konfigurationseinstellungen für Verbindungen mit Wi-Fi-Stationen

Die Einstellungen für Verbindungen mit WLAN-Access Points (Wi-Fi-Stationen) können nun nicht nur über das Webmenü des Geräts, sondern auch über das Konfigurationsmenü vorgenommen werden.

Zugehörige Menüpunkte

Maintenance >Network >Wi-Fi Station Detail Settings

Mehrfachregistrierung von Netzwerkclientmodi

Es können nun bis zu drei Einstellungen für den Netzwerkclientmodus registriert werden.

Zugehörige Menüpunkte

Maintenance >Network Client Mode >Preset 1 bis Preset 3

„XAVC Proxy Rec Mode“ nun einem belegbaren Schalter zuweisbar

Operation >XAVC Proxy Rec Mode >Setting im Konfigurationsmenü kann nun über einen belegbaren Schalter bedient werden.

Dadurch kann im Netzwerkclientmodus die Proxy-Aufzeichnung geschaltet werden, ohne das Menü zu verwenden.

Verbesserte Integration von drahtlosen Digitalempfängern

Die Energiesparfunktion der drahtlosen Digitalempfänger Sony DWR-S01D/S02D/S02DN kann nun vom Camcorder aus gesteuert werden.

- Die Funktion „TX Power Save“ kann einem belegbaren Schalter zugewiesen werden.

- Die Energiesparfunktion des drahtlosen Digitalempfängers kann mit der Bedienung des Schalters POWER des Camcorders verknüpft werden.
- Der Status des drahtlosen Digitalempfängers im Energiesparmodus wird im Sucher und auf dem LCD-Monitor angezeigt.

Zugehörige Menüpunkte

Maintenance >WRR Setting >TX Power Save

Maintenance >WRR Setting >TX-Cam Power Sync

Hinweis

Die zur Unterstützung erforderlichen Firmwareversionen der drahtlosen Digitalempfänger von Sony sind nachfolgend aufgeführt.

DWR-S01D V1.16 oder später, S02D V1.07 oder später, S02DN V1.12 oder später

Wichtige in V2.00 aktualisierte Funktionen

Unterstützung für Simultanaufnahmen über denselben Steckplatz

Bei Aufnahmen in XAVC-I 3840x2160P und XAVC-L 3840x2160P können MPEG HD422-Aufnahmen als Subclip aufgezeichnet werden.

Die Funktion wird aktiviert, indem Sie die Option „Operation >Rec Function >4K & HD (Sub) Rec“ im Einrichtungs-menü auf „On“ setzen.

Subclipkopie als Hauptclip in Medien

Sie können einen Subclip, der unter Verwendung der Option „1-slot Simul Rec“ erstellt wurde, auf anderen Medien als Hauptclip speichern.

Formatieren während der Aufnahme

Die im zweiten Kartensteckplatz geladene SxS-Speicherkarte kann jetzt auch während der Aufnahme formatiert werden.

Hinweise

- Während einer „1-slot Simul Rec“-Aufnahme, während der Wiedergabe und während der Skizzenbilderanzeige ist das Formatieren nicht möglich.
- Während des Formatierens ist keine Aufnahme auf der zweiten SxS-Speicherkarte möglich.

Unterstützung für SDI-Quad Link-Ausgabe

Im 3840x2160 59.94P (50P)-Betrieb wird jetzt die 59.94P (50P)-Quad Link-Ausgabe (Square-Division) mit 4 SDI-Anschlüssen unterstützt.

Hinweis

Es ist eine gesonderte CBKZ-Z450QL-Upgradelizenz erforderlich. Installieren Sie die Upgradelizenz im Menü „Setup“ unter „Maintenance >Option“.

XDCAM air-Unterstützung

Wenn der Camcorder mit XDCAM air verbunden ist, wird jetzt HQ-Streaming unterstützt.

Hinweis

XDCAM air ist ein Cloud-Dienst, der von Sony bereitgestellt wird.

Wenn Sie diesen Dienst nutzen wollen, ist eine Registrierung erforderlich.

XDCAM air wird in einigen Regionen nicht bereitgestellt. Ausführliche Informationen zu den Gebieten, in denen der Dienst bereitgestellt wird, finden Sie auf der folgenden Website: <https://www.xdcam-air.com>

Einzelheiten zu der XDCAM air-Datenschutzrichtlinie finden Sie auf den folgenden Seiten.

– Geschäftsbedingungen

https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html

– XDCAM air-Datenschutzrichtlinie

<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>

– Professional ID-Datenschutzrichtlinie


<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>

Einzelheiten erhalten Sie von Ihrer Sony Professional-Vertriebsvertretung.

Übertragung von Planungsmetadaten-Dateien

Planungsmetadaten-Dateien können jetzt mit der Einstellung „Auto upload (Proxy)“ übertragen werden.

Webmenü

In dem Menü, das durch Tippen auf  oben links im Webmenü-Bildschirm aufgerufen wird, wurde der Befehl „OSS Information“ hinzugefügt.

Italiano

Funzioni principali aggiornate nella versione V6.01

Precauzioni per l'aggiornamento

Per l'aggiornamento, seguire la procedura descritta nella guida all'aggiornamento (4-724-330-42(1)).

Miglioramenti alla velocità di trasferimento file tramite FTP

È stata aumentata la velocità massima di trasferimento tramite FTP per l'upload di clip originali registrati sull'unità.

Nota

L'entità della diminuzione dei tempi di upload dipenderà dall'ambiente di rete.

Voci di menu correlate

Maintenance >File Transfer

Funzioni principali aggiornate nella versione V6.00

Supporto di S-Log3 in modalità di registrazione HD

Può ora essere selezionato HDR(S-Log3) quando il formato di registrazione è impostato su HD.

* Per 1-slot Simul Rec, HDR(S-Log3) può essere selezionato solo quando 4K(QFHD) Rec/Out è impostato su HDR(S-Log3).

Voci di menu correlate

Operation >HDR Setting >HD Rec/Out

Miglioramenti della funzione HLG Look

È stata aggiunta l'opzione "Mild" alla funzione HLG Look. Impostando l'opzione "Mild" viene selezionata una caratteristica conforme a ITU-R BT.2100(HLG) che fornisce una qualità di immagine meno intensa di quella offerta da "Live".

Voci di menu correlate

Paint >HDR Paint Setting >HLG Look

Aggiunta la funzione HDR Black Compression

È stata aggiunta la funzione HDR Black Compression. Questa funzione imposta il livello di nero del video HDR su un valore equivalente quello del video SDR.

Voci di menu correlate

Paint >HDR Paint Setting >HDR Black Compression

Miglioramenti alla modulazione nella modalità di registrazione HD

Può ora essere selezionata una caratteristica ad alta risoluzione che sfrutta l'oversampling QFHD.

Voci di menu correlate

Maintenance >Camera Config >HD Modulation

– High: Caratteristica ad alta risoluzione

– Normal: Caratteristica convenzionale

Altro

È stata migliorata la funzione di rete.

È stata rafforzata la sicurezza di rete.

Nota

Quando Wi-Fi Mode è impostata su Wi-Fi Access Point, è essenziale cambiare sempre la password predefinita prima di utilizzarla. Utilizzare una password generata utilizzando la procedura seguente.

1 Impostare Maintenance >Network >Setting su On.

2 Impostare Maintenance >Network >Wi-Fi Mode su Wi-Fi Access Point.

3 Eseguire Maintenance >Network >Regenerate Password.

Funzioni principali aggiornate nella versione V5.01

Risolto un problema in cui l'alimentazione dell'unità si spegne indesideratamente durante l'uso di certi dispositivi collegati.

Funzioni principali aggiornate nella versione V5.00

Supporto della funzione Last Clip Delete

L'ultimo clip registrato può ora essere eliminato utilizzando un pulsante programmabile assegnato alla funzione Last Clip Delete.

Voci di menu correlate

Operation >Assignable Switch

Espansione della funzione Picture Cache

La funzione Picture Cache Rec è ora in grado di memorizzare nella cache fino a 2 secondi di registrazione in modalità 1-slot Simul Rec nei formati XAVC-L QFHD e MPEG HD422.

Voci di menu correlate

• Operation >Rec Function >Picture Cache Rec

• Operation >Rec Function >4K & HD(Sub) Rec

Supporto della funzione di riproduzione delle registrazioni su clip secondari (HD)

La funzione di riproduzione è ora supportata anche per i clip secondari (HD) registrati in modalità 1-slot Simul Rec.

Voci di menu correlate

Operation >Rec Function >HD(Sub) Playback Mode

Supporto per l'impostazione separata di Detail in varie risoluzioni

È ora possibile configurare separatamente Detail per QFHD e HD.

La gestione separata di Detail in QFHD e HD è supportata anche tramite il dispositivo di comando a distanza.

Voci di menu correlate

- Paint >Detail(QFHD)
- Paint >Detail(HD)
- Maintenance >Detail Control(RM/RCP)

Nota

Durante l'aggiornamento del firmware dell'unità da una versione precedente alla 5.0 alla versione 5.0 o successiva, le impostazioni del menu Detail esistenti vengono applicate a Detail(HD), ma non a Detail(QFHD). Configurare le impostazioni di Detail(QFHD) manualmente.

Miglioramenti della funzione di bilanciamento del bianco

Il metodo di correzione della riproduzione del colore a seguito di cambiamenti nel bilanciamento del bianco è stato migliorato.

Voci di menu correlate

Paint >Tracing Matrix

- Type A: Metodo per versione 4.12 e precedenti
- Type B: Miglioramenti al metodo di correzione rispetto a Type A (impostazione predefinita)

Miglioramento nella visualizzazione in modalità di ingrandimento della messa a fuoco (Focus Mag)

È stata migliorata la visibilità dell'ingrandimento della messa a fuoco (Focus Mag) per evitare operazioni errate.

Nuovo nome della funzione HDR

È stato cambiato il nome di una voce del menu Paint >HDR Paint Setting e le relative impostazioni.

Voci di menu correlate

Paint >HDR Paint Setting >HLG Look

- Natural: Caratteristica conforme a ITU-R BT.2100(HLG)
- Live: Caratteristica conforme a ITU-R BT.2100(HLG) con un effetto HDR di maggiore entità (impostazione predefinita)

Supporto metadati "SR Live for HDR"

È ora possibile registrare simultaneamente su un file come metadati SDR Gain ed altri importanti parametri. Questi parametri possono anche essere incorporati nell'uscita SDI. L'impiego di metadati consente di migliorare l'uniformità e la ripetibilità nel tempo delle soluzioni dell'intero processo, dalla ripresa live fino all'elaborazione dei file in post-produzione.

Trasferimento di file supportato dalla schermata delle miniature

La schermata delle miniature dell'unità consente adesso di selezionare e trasferire file originali e file proxy.

Voci di menu correlate

Thumbnail >Transfer Clip

Thumbnail >Transfer Clip(Proxy)

Supporto dell'aggiornamento della certificazione tramite menu

È ora possibile importare i certificati di Network Client Mode tramite il menu web.

Anche i certificati Sony Ci possono ora essere importati tramite la voce Upload Settings del menu web.

Per informazioni dettagliate sui certificati rivolgersi al proprio rappresentante commerciale Sony.

Voci di menu correlate

- System Settings >Network Client Mode Settings nel menu web
- Schermata di configurazione "Sony Ci" accessibile tramite Upload Settings nel menu web

Miglioramento della protezione tramite password

Per maggior sicurezza, le password utilizzate per l'autenticazione di base devono ora avere una lunghezza minima di almeno 8 caratteri e contenere almeno un carattere alfabetico e un carattere numerico.

Voci di menu correlate

Maintenance >Basic Authentication >Password

Nota

La password viene eliminata durante l'aggiornamento del firmware dell'unità da una versione inferiore a 5.0 alla versione 5.0 o superiore. In questo caso, riconfigurare la password.

Altro

È stata migliorata la stabilità delle operazioni di registrazione e di avvio.

Funzioni principali aggiornate nella versione 4.12

- Quando file proxy sono caricati automaticamente, il trasferimento dei nuovi file ha precedenza sui file con un errore di trasferimento.
- La stabilità della modalità di registrazione è stata migliorata.

Funzioni principali aggiornate nella versione 4.11

Risolto il problema della mancata esecuzione di una registrazione se la data del 29 febbraio (in un anno bisestile) è stato configurato nel campo Data nel menu di impostazione dell'unità.

Funzioni principali aggiornate nella versione 4.10

Compatibile con le schede di memoria XQD QD-G120F e QD-G240F

Le QD-G120F e QD-G240F sono state aggiunte alla linea di schede di memoria XQD, utilizzabili con la videocamera. L'adattatore XQD ExpressCard (QDA-EX1) è richiesto per utilizzare una scheda di memoria XQD.

Funzioni principali aggiornate nella versione 4.01

Supporto per l'uscita SDI Quad Link 2SI Level-A

Nella modalità operativa a 3840×2160 59.94P (50P) è ora supportata anche l'uscita SDI Quad Link 2-Sample Interleave (2SI) Level-A 59.94P (50P) oltre all'uscita Square division Level-B.

Voci di menu correlate

Operation >Input/Output >Output Format

Nota

È necessaria una licenza di upgrade CBKZ-Z450QL separata. La licenza di upgrade può essere installata utilizzando la voce Maintenance >Option del menu di impostazione.

Supporto della funzione Interval Rec durante la registrazione 4K (QFHD)

La funzione Interval Rec è ora supportata durante la registrazione 4K (QFHD).

Voci di menu correlate

Operation >Rec Function >Interval Rec

Supporto per lo spazi colore S-Gamut3/S-Gamut3.Cine

È ora supportata la selezione degli spazi colore S-Gamut3/S-Gamut3.Cine durante le riprese con S-Log3.

Voci di menu correlate

Le seguenti impostazioni sotto Operation >HDR Setting

>S-Log Color Space:

BT.2020

S-Gamut3(3200K)

S-Gamut3(4300K)

S-Gamut3(5500K)

S-Gamut3.Cine(3200K)

S-Gamut3.Cine(4300K)

S-Gamut3.Cine(5500K)

Supporto per modalità Pure per ATW (tracciamento automatico del bilanciamento del bianco)

È stato aggiunto il supporto per la modalità Pure che, in confronto con la modalità esistente (Natural), regola automaticamente il bilanciamento del bianco per ottenere un risultato più vicino ai colori primari senza residue colorazioni bluastre o rossastre.

Voci di menu correlate

Operation >White Setting >ATW Mode

Natural: Regola il bilanciamento del bianco per ottenere un'atmosfera naturale.

Pure: Regola un bilanciamento vicino ai colori primari.

Registrazione di un pulsante programmabile con Slow & Quick Motion

La funzione Slow & Quick Motion del menu di impostazione può ora essere commutata su On o Off mediante un pulsante programmabile.

Può essere assegnata ai pulsanti programmabili 1, 3, 4, 5 o al pulsante ONLINE.

Voci di menu correlate

Operation >Rec Function >Slow & Quick Motion

Operation >Assignable SW

Caricamento di metadati di pianificazione da scheda SDXC

È possibile ora caricare metadati di pianificazione da schede SDXC utilizzando un adattatore per supporti di memoria MEAD-SD02 opzionale.

Voci di menu correlate

Operation >Planning Metadata

Nota

Non è possibile utilizzare schede SD/SDHC.

Miglioramenti delle funzionalità della modalità client di rete

Sono state migliorate le prestazioni dello streaming di alta qualità tramite la tecnologia Sony QoS.

Connection Control Manager consente ora di eseguire le operazioni indicate di seguito.

- Attivazione o disattivazione della registrazione proxy.
- Comando a distanza della videocamera e operazioni sui file ALL

Voci di menu correlate

Maintenance >Network Client Mode >Preset1/2/3

NCM with Proxy

Camera Control

Camera Setting

Miglioramenti alla funzione Flash Band Reduce

Sono stati apportati miglioramenti alla funzione Flash Band Reduce.

Funzioni principali aggiornate nella versione V3.00

Supporto della modalità High Dynamic Range (HDR)

Per consentire le riprese con gamma dinamica estesa, sono supportate le modalità Hybrid Log Gamma (HLG) e S-Log3.

Sono disponibili due tipi di HLG:

- HLG_BT.2100: Curva HLG basata su ITU-R BT.2100(HLG)
- HLG_Live: Curva HLG basata su ITU-R BT.2100(HLG) in grado di offrire migliorate prestazioni in HDR (impostazione predefinita)

Quando è selezionata la modalità HDR, lo spazio colore viene esteso ad una modalità equivalente a ITU-R BT.2020.

Voci di menu correlate

• Operation >Base Setting

• Operation >HDR Setting

• Paint >HDR Paint Setting

• Paint >Gamma(HDR)

Nota

Le impostazioni HDR sono disponibili quando il file system è exFAT e il formato di registrazione è 4K (QFHD) o HD.

Funzione di assistenza alla visualizzazione “HLG Display Assist”

Durante le riprese HDR nella modalità HLG, questa funzione adatta automaticamente l'immagine visualizzata nel mirino e sul monitor LCD in modo che appaia simile a come apparirebbe su un display compatibile con la modalità HDR. È possibile attivare o disattivare la funzione “HLG Display Assist” secondo le necessità assegnandola a un pulsante programmabile.

Nota

Questa funzione viene applicata all'immagine sul mirino e sul monitor LCD. Non è applicata all'immagine registrata e all'immagine emessa in uscita.

Migliorata funzione di soppressione del rumore

È stata aggiunta un'opzione [Super] che offre una soppressione del rumore più marcata rispetto all'opzione [High]. È stata anche aggiunta una modalità di collegamento del guadagno che collega il livello con l'impostazione del guadagno.

Voci di menu correlate

Paint >Noise Suppression >Level
Paint >Noise Suppression >Gain Link

Supporto della funzione Picture Cache Rec nelle registrazioni in 4K (QFHD)

La registrazione in 4K (QFHD) supporta la funzione Picture Cache Rec.

- Da 0 a 2 secondi in XAVC-I QFHD (29.97P o inferiore)
- Da 0 a 8 secondi in XAVC-L QFHD (59.94P/50P)
- Da 0 a 12 secondi in XAVC-L QFHD (29.97P o inferiore)

Nota

La funzione Picture Cache Rec non può essere utilizzata contemporaneamente ad altre funzioni di registrazione speciale.

Supporto della funzione Slow & Quick Motion nelle registrazioni in 4K (QFHD)

Durante la registrazione in XAVC-I QFHD o XAVC-L QFHD, è supportata la funzione Slow & Quick Motion per le velocità da 1 FPS a 60 FPS.

Nota

La funzione Slow & Quick Motion non può essere utilizzata contemporaneamente ad altre funzioni di registrazione speciale.

Migliorata funzione di ingrandimento della messa a fuoco

Utilizzando un mirino della serie HDVF-EL20/EL30 e impostando il formato di registrazione su 4K (QFHD), è disponibile una funzione di ingrandimento con definizione superiore rispetto alla funzione di ingrandimento della messa a fuoco attuale.

Questa funzione può essere utilizzata assegnando “Focus Magnifier” a un pulsante programmabile.

Supporto di schede SDHC (FAT)

Oltre alle schede di memoria SDXC, sono ora supportate anche le schede di memoria SDHC, utilizzabili con l'adattatore opzionale MEAD-SD02.

Nota

- Le schede di memoria SDHC sono supportate solo quando il file system è FAT e il formato di registrazione è MPEG HD420 (HQ/SP).
- Il file system FAT è supportato solo su schede di memoria SDHC.

Impostazioni di configurazione per la connessione a una stazione Wi-Fi

È ora possibile configurare le impostazioni di connessione a un punto di accesso LAN wireless (una stazione Wi-Fi) anche dal menu di configurazione dell'apparecchio e non solo dal menu Web.

Voci di menu correlate

Maintenance >Network >Wi-Fi Station Detail Settings

Registrazione di più modalità client di rete

Possono ora essere registrate fino a tre impostazioni diverse di modalità client di rete.

Voci di menu correlate

Maintenance >Network Client Mode >Da Preset 1 a Preset 3

Registrazione di XAVC Proxy Rec Mode a un pulsante programmabile

L'impostazione di Operation >XAVC Proxy Rec Mode >Setting nel menu di impostazione può ora essere selezionata tramite un pulsante programmabile.

Questo consente la selezione della registrazione proxy in modalità client di rete senza dover utilizzare il menu.

Migliorata integrazione con ricevitori wireless digitali

Le funzioni di risparmio energetico dei ricevitori wireless digitali Sony DWR-S01D/S02D/S02DN possono ora essere selezionate dalla videocamera.

- La funzione “TX Power Save” può ora essere assegnata a un pulsante programmabile.
- La funzione di risparmio energetico del ricevitore wireless digitale può ora essere sincronizzata con lo stato dell'interruttore di alimentazione della videocamera.
- Lo stato del ricevitore wireless digitale nella modalità di risparmio energetico è visualizzato nel mirino e sul monitor LCD.

Voci di menu correlate

Maintenance >WRR Setting >TX Power Save
Maintenance >WRR Setting >TX-Cam Power Sync

Nota

La versione di firmware del ricevitore wireless digitale Sony richiesta per il supporto è indicata di seguito.
DWR-S01D V1.16 o successiva, S02D V1.07 o successiva, S02DN V1.12 o successiva

Funzioni principali aggiornate nella versione V2.00

Supporto per la funzione di registrazione simultanea su uno slot

Durante la registrazione nei formati XAVC-I 3840×2160P o XAVC-L 3840×2160P, è possibile anche registrare clip secondari in formato MPEG HD422.

Impostare Operation >Rec Function >4K & HD (Sub) Rec su On per abilitare la funzione.

Copia di clip secondari su un supporto come clip principali

È possibile copiare un clip secondario creato utilizzando la funzione 1-slot Simul Rec e salvarlo su altri supporti di memoria come clip principale.

Formattazione durante la registrazione

È ora possibile formattare una scheda di memoria SxS anche durante la registrazione purché sia inserita nello slot non utilizzato per la registrazione.

Note

- Non è possibile eseguire la formattazione mentre è attiva la modalità 1-slot Simul Rec, durante la riproduzione o mentre è visualizzata la schermata delle miniature.
- Durante la formattazione non è possibile avviare la registrazione sull'altra scheda SxS.

Supporto all'uscita SDI Quad Link

Nella modalità 3840x2160 59.94P (50P) è ora supportata l'uscita 59.94P (50P) Quad Link (Square division) utilizzando quattro connettori SDI.

Nota

Questo richiede la licenza di upgrade CBKZ-Z450QL disponibile separatamente.

Installare la licenza di upgrade mediante Maintenance >Option nel menu di impostazione.

Supporto a XDCAM air

È ora supportato lo streaming ad elevata qualità collegando la videocamera a XDCAM air.

Nota

XDCAM air è un servizio cloud fornito da Sony.

Per utilizzare questo servizio, è richiesta la registrazione.

XDCAM air non viene fornito in alcune regioni. Per maggiori informazioni sulle aree in cui viene fornito in servizio, fare riferimento al seguente sito.

<https://www.xdcam-air.com>

Per informazioni dettagliate sulla protezione della privacy di XDCAM air visitare i siti Web elencati di seguito.

– Condizioni di servizio

https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html

– Politica sulla privacy di XDCAM air

<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>

– Politica sulla privacy di Professional ID


<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>

Per maggiori informazioni, contattare un rappresentante vendite Sony professionale.

Trasferimento di file di metadati di pianificazione

È ora possibile il trasferimento di file di metadati di pianificazione mediante l'impostazione dell'opzione "Auto upload (Proxy)".

Menu Web

La voce "OSS Information" è stata aggiunta alle altre voci visualizzabili toccando  in alto a sinistra nella schermata del menu Web.

Español

Funciones principales actualizadas en la versión 6.01

Precauciones al actualizar

Cuando realice la actualización, siga los pasos descritos en la guía de actualización (4-724-330-52(1)).

Mejora en la velocidad de transferencia de archivos FTP

Se ha aumentado la velocidad máxima de transferencia al cargar clips originales grabados en la unidad mediante FTP.

Nota

La reducción en el tiempo de carga dependerá del entorno de red.

Elementos del menú relacionados

Maintenance >File Transfer

Funciones principales actualizadas en la versión 6.00

Compatibilidad de S-Log3 en modo de grabación HD

HDR(S-Log3) ahora puede seleccionarse cuando el formato de grabación se configura en HD.

* Para Simul Rec de 1 ranura, HDR(S-Log3) puede seleccionarse solamente cuando 4K(QFHD) Rec/Out está configurado en HDR(S-Log3).

Elementos del menú relacionados

Operation >HDR Setting >HD Rec/Out

Mejoras en la función HLG Look

"Mild" se ha añadido a las opciones para HLG Look.

Cuando se configura en Mild, se selecciona una característica que se ajusta con base en ITU-R BT.2100(HLG) y que ofrece una calidad de imagen general más suave que Live.

Elementos del menú relacionados

Paint >HDR Paint Setting >HLG Look

Añadida la función HDR Black Compression

Se ha añadido una función HDR Black Compression.

La función configura el nivel de negro del vídeo HDR para que coincida con el vídeo SDR.

Elementos del menú relacionados

Paint >HDR Paint Setting >HDR Black Compression

Mejoras en la modulación del modo de grabación HD

Ahora puede seleccionarse una característica de resolución alta que utiliza el sobremuestreo QFHD.

Elementos del menú relacionados

Maintenance >Camera Config >HD Modulation

– High: característica de resolución alta

– Normal: característica convencional

Otro

La función de red se ha mejorado.

La seguridad de red se ha fortalecido.

Nota

Cuando Wi-Fi Mode está configurado en Wi-Fi Access Point, la contraseña predeterminada no debe utilizarse tal cual. Utilice la contraseña generada siguiendo el procedimiento siguiente.

- 1 Ajuste Maintenance >Network >Setting en On.
- 2 Ajuste Maintenance >Network >Wi-Fi Mode en Wi-Fi Access Point.
- 3 Ejecute Maintenance >Network >Regenerate Password.

Funciones principales actualizadas en la versión 5.01

Se ha resuelto un problema por el que la alimentación de la unidad se apagaba accidentalmente cuando se utilizaban algunos dispositivos conectados.

Funciones principales actualizadas en la versión 5.00

Asistencia para la función Last Clip Delete

Ahora el último clip grabado se puede eliminar a través de un interruptor asignable al que se haya asignado la función Last Clip Delete.

Elementos del menú relacionados

Operation >Assignable Switch

Ampliación de la función Picture Cache Rec

Ahora la función Picture Cache Rec admite hasta 2 segundos de grabación en caché en modo Simul Rec de 1 ranura en los formatos XAVC-L QFHD y MPEG HD422.

Elementos del menú relacionados

- Operation >Rec Function >Picture Cache Rec
- Operation >Rec Function >4K & HD(Sub) Rec

Asistencia para la función de reproducción (HD) de grabación de subclips

Ahora la función de reproducción admite subclips (HD) grabados en modo Simul Rec de 1 ranura.

Elementos del menú relacionados

Operation >Rec Function >HD(Sub) Playback Mode

Asistencia para la configuración independiente de Detail para distintas resoluciones

Ahora, es posible configurar la opción Detail de manera independiente para QFHD y HD.

También se admiten los controles independientes para QFHD y HD a través de la unidad de control remoto.

Elementos del menú relacionados

- Paint >Detail(QFHD)
- Paint >Detail(HD)
- Maintenance >Detail Control(RM/RCP)

Nota

Cuando se actualiza el firmware de la unidad de una versión anterior a la 5.0 a la versión 5.0 o posterior, la configuración del menú Detail existente se aplica a Detail(HD), pero no a Detail(QFHD). Configure Detail(QFHD) manualmente.

Mejoras en la función de balance de blancos

Se ha mejorado el método de corrección para la reproducción del color a causa de los cambios en el balance de blancos.

Elementos del menú relacionados

Paint >Tracing Matrix

– Type A: método para la conversión 4.12 y anterior

– Type B: mejoras en el método de corrección relativo a Type A (ajuste predeterminado)

Mejoras en la función de visualización del modo de ampliación del enfoque (Focus Mag)

Se ha mejorado la visibilidad de la ampliación del enfoque (Focus Mag) para evitar su funcionamiento incorrecto.

Cambio de nombre de la función HDR

El nombre de un elemento del menú Paint >HDR Paint Setting y los ajustes han cambiado.

Elementos del menú relacionados

Paint >HDR Paint Setting >HLG Look

– Natural: característica según ITU-R BT.2100(HLG)

– Live: característica según ITU-R BT.2100(HLG) con mayor efecto de HDR (ajuste predeterminado)

Compatibilidad de los datos de “SR Live for HDR”

Ahora SDR Gain y otros parámetros básicos se pueden grabar simultáneamente en un archivo como metadatos. Estos parámetros clave también se pueden integrar en la salida SDI. El uso de metadatos permite soluciones más consistentes de la producción de cámara Live al procesamiento de archivos en posproducción.

Se admite la transferencia de archivos desde la pantalla de miniaturas

Ahora es posible seleccionar archivos originales y archivos proxy en la pantalla de miniaturas de la unidad.

Elementos del menú relacionados

Thumbnail >Transfer Clip

Thumbnail >Transfer Clip(Proxy)

Compatibilidad del menú de actualización de certificaciones

Ahora los certificados de Network Client Mode se pueden importar mediante el menú web.

Ahora los certificados de Sony Ci también se pueden importar mediante Upload Settings en el menú web.

Para obtener más información acerca de los certificados, póngase en contacto con su representante de ventas de Sony.

Elementos del menú relacionados

- System Settings >Network Client Mode Settings en el menú web
- La pantalla de configuración es accesible desde Upload Settings en el menú web

Mejoras de seguridad de las contraseñas

Ahora las contraseñas usadas para la autenticación básica deben tener 8 caracteres o más y contener al menos un carácter alfabético y uno numérico, respectivamente, para lograr una mayor seguridad.

Elementos del menú relacionados

Maintenance >Basic Authentication >Password

Nota

El ajuste de la contraseña se restablece cuando se actualiza el firmware de la unidad de una versión anterior a la 5.0 a la versión 5.0 o posterior. En tal caso, vuelva a configurar la contraseña.

Otro

Se han mejorado la estabilidad de la grabación y las operaciones de inicio.

Funciones principales actualizadas en la versión 4.12

- Cuando los archivos proxy se cargan automáticamente, la transferencia de los archivos añadidos nuevos tiene prioridad con respecto a los archivos con error de transferencia.
- La estabilidad de la operación de grabación se ha mejorado.

Funciones principales actualizadas en la versión 4.11

Se ha resuelto el problema por el que no se podía realizar la grabación cuando se configuraba un día bisiesto (29 de febrero) para Date en el menú de configuración de la unidad.

Funciones principales actualizadas en la versión 4.10

Compatible con tarjetas de memoria XQD QD-G120F y QD-G240F

QD-G120F y QD-G240F se han añadido al conjunto de tarjetas de memoria XQD que pueden utilizarse con la videocámara. El adaptador XQD ExpressCard (QDA-EX1) es necesario para utilizar una tarjeta de memoria XQD.

Funciones principales actualizadas en la versión 4.01

Compatibilidad con salida SDI Quad Link 2SI Level-A

Ahora, en la operación 3840×2160 59.94P (50P), la salida SDI Quad Link 2-Sample Interleave (2SI) Level-A 59.94P (50P) es compatible, además de la salida Square division Level-B.

Elementos de menú relacionados

Operation >Input/Output >Output Format

Nota

Se necesita una licencia de actualización CBKZ-Z450QL independiente.

La licencia de actualización se instala utilizando Maintenance >Option en el menú de configuración.

Compatibilidad de la función Interval Rec durante la grabación en 4K (QFHD)

Ahora, la función Interval Rec es compatible durante la grabación en 4K (QFHD)

Elementos de menú relacionados

Operation >Rec Function >Interval Rec

Compatibilidad del espacio de color S-Gamut3/S-Gamut3.Cine

S-Gamut3/S-Gamut3.Cine son compatibles para la selección como espacio de color cuando se graba utilizando S-Log3.

Elementos de menú relacionados

La siguiente configuración en Operation >HDR Setting >S-Log Color Space:

BT.2020
S-Gamut3(3200K)
S-Gamut3(4300K)
S-Gamut3(5500K)
S-Gamut3.Cine(3200K)
S-Gamut3.Cine(4300K)
S-Gamut3.Cine(5500K)

Asistencia para el modo Pure para ATW (localización automática del balance de blancos)

Asistencia añadida para el modo Pure que, en comparación con el modo Natural existente, ajusta automáticamente el balance de blancos para obtener un resultado más cercano a los colores primarios sin colores residuales azulados o rojizos.

Elementos de menú relacionados

Operation >White Setting >ATW Mode

Natural: ajusta el balance de blancos para obtener un ambiente natural.

Pure: ajusta el balance que es más cercano a los colores primarios.

Registro de interruptor asignable de Slow & Quick Motion

La configuración de activación/desactivación de Slow & Quick Motion en el menú de configuración ahora se puede realizar utilizando un interruptor asignable.

Se puede registrar en el interruptor asignable 1, 3, 4, 5 o el botón ONLINE.

Elementos de menú relacionados

Operation >Rec Function >Slow & Quick Motion

Operation >Assignable SW

Carga de metadatos de planificación desde una tarjeta SDXC

Los metadatos de planificación se pueden cargar desde las tarjetas SDXC mediante un adaptador de soportes MEAD-SD02 opcional.

Elementos de menú relacionados

Operation >Planning Metadata

Nota

No se pueden utilizar tarjetas SD/SDHC.

Mejoras de funciones en el modo de cliente de red

El rendimiento de transmisiones de alta calidad con la tecnología Sony QoS se ha mejorado.

Además, ahora las siguientes operaciones son compatibles con Connection Control Manager.

- Activación/desactivación de la grabación proxy
- Control remoto de la cámara y todas las operaciones de archivos ALL

Elementos de menú relacionados

Maintenance >Network Client Mode >Preset1/2/3

NCM with Proxy
Camera Control
Camera Setting

Mejoras en la función Flash Band Reduce

Se han realizado mejoras en la función Flash Band Reduce.

Funciones principales actualizadas en la versión 3.00

Compatible con High Dynamic Range (HDR)

Su compatibilidad con Hybrid Log Gamma (HLG) y S-Log3 permite filmar con rango dinámico ampliado.

Están disponibles los dos tipos siguientes de HLG.

- HLG_BT.2100: curva HLG con base en ITU-R BT.2100(HLG)
- HLG_Live: curva HLG con base en ITU-R BT.2100(HLG) que ofrece un rendimiento HDR mejorado (ajuste predeterminado)

Cuando se selecciona HDR, el espacio de color se amplía al equivalente a ITU-R BT.2020.

Elementos de menú relacionados

- Operation >Base Setting
- Operation >HDR Setting
- Paint >HDR Paint Setting
- Paint >Gamma(HDR)

Nota

La configuración de HDR se activa cuando el sistema de archivos es exFAT y el formato de grabación es 4K (QFHD) o HD.

Función HLG Display Assist

Cuando se filma en HDR con HLG, esta función ajusta automáticamente la imagen que se muestra en el visor y el monitor LCD para que sea similar a la de una pantalla compatible con HDR.

También puede activar o desactivar la función "HLG Display Assist", según sea necesario, asignando la función a un interruptor asignable.

Nota

Esta función se aplica a la imagen del visor y el monitor LCD. No se aplica a la imagen grabada ni a la imagen de salida.

Función de supresión de ruido mejorada

Se ha añadido una opción [Super] con la que se obtiene una supresión de ruido más potente que con el ajuste [High]. También se ha añadido un modo Gain Link para vincular el nivel con el ajuste de ganancia.

Elementos de menú relacionados

Paint >Noise Suppression >Level
Paint >Noise Suppression >Gain Link

Es compatible con la función Picture Cache Rec cuando se graba a 4K (QFHD)

Es compatible con la función Picture Cache Rec cuando se graba a 4K (QFHD)

- De 0 a 2 segundos en XAVC-I QFHD (29.97P o menos)
- De 0 a 8 segundos en XAVC-L QFHD (59.94P/50P)
- De 0 a 12 segundos en XAVC-I QFHD (29.97P o menos)

Nota

La función Picture Cache Rec no se puede utilizar de forma simultánea con ninguna otra función de grabación especial.

Es compatible con la función Slow & Quick Motion cuando se graba a 4K (QFHD)

Es compatible con la función Slow & Quick Motion a velocidades de entre 1 y 60 FPS cuando se graba en XAVC-I QFHD or XAVC-L QFHD.

Nota

La función Slow & Quick Motion no se puede utilizar de forma simultánea con ninguna otra función de grabación especial.

Función de ampliación del enfoque

Cuando se utiliza un visor de la serie HDVF-EL20/EL30 y el formato de grabación está ajustado en 4K (QFHD), se puede obtener una visualización ampliada de mayor definición en comparación con la función de ampliación del enfoque actual. Para utilizar esta función, se debe asignar "Focus Magnifier" a un interruptor asignable.

Compatibilidad con tarjetas de memoria SDHC (FAT)

Ahora, además de con las tarjetas de memoria SDXC, se ofrece compatibilidad con las SDHC, que se pueden utilizar con el Adaptador de soporte MEAD-SD02 opcional.

Notas

- Solo existirá compatibilidad con las tarjetas de memoria SDHC cuando el sistema de archivos sea FAT y el formato de grabación sea MPEG HD420 (HQ/SP).
- El sistema de archivos FAT solo es compatible con tarjetas de memoria SDHC.

Configuración para la conexión con una estación Wi-Fi

Ahora se pueden configurar los ajustes de conexión de punto de acceso LAN (estación Wi-Fi) desde el menú de configuración de la unidad, no solo desde el menú web.

Elementos de menú relacionados

Maintenance >Network >Wi-Fi Station Detail Settings

Registro múltiple del modo cliente de red

Ahora se pueden registrar hasta tres configuraciones del modo de cliente de red.

Elementos de menú relacionados

Maintenance >Network Client Mode >De Preset 1 a Preset 3

Registro del interruptor asignable de XAVC Proxy Rec Mode

Ahora se puede cambiar el ajuste Operation >XAVC Proxy Rec Mode >Setting con el interruptor asignable.

Eso permite cambiar la grabación proxy en el modo de cliente de red sin utilizar el menú.

Integración mejorada con receptores inalámbricos digitales

Ahora la función de ahorro de energía de los receptores inalámbricos digitales Sony DWR-S01D/S02D/S02DN se puede controlar desde la videocámara.

- La función "TX Power Save" se puede asignar a un interruptor asignable.
- Ahora la función de ahorro de energía de los receptores inalámbricos digitales se puede vincular con el uso del interruptor POWER de la videocámara.
- El estado del receptor inalámbrico digital en el modo de ahorro de energía se muestra en el visor y el monitor LCD.

Elementos de menú relacionados

Maintenance >WRR Setting >TX Power Save

Maintenance >WRR Setting >TX-Cam Power Sync

Nota

A continuación se indica la versión del firmware del receptor inalámbrico digital Sony que se requiere para la compatibilidad. DWR-S01D V1.16, S02D V1.07 o posterior, S02DN V1.12 o posterior

Funciones principales actualizadas en la versión 2.00

Soporte de grabación simultánea de 1 ranura

Cuando se graba en XAVC-I 3840x2160P o XAVC-L 3840x2160P, MPEG HD422 también puede grabarse como un subclip. Ajuste Operation >Rec Function >4K & HD (Sub) Rec en el menú de configuración en ON para activar la función.

Copia de un subclip a un soporte como clip principal

Puede copiar un subclip creado con la opción Simul Rec de 1 ranura y guardarlo como clip principal en otro soporte.

Formato durante la grabación

Incluso durante la grabación, ahora se puede formatear la tarjeta de memoria SxS cargada en la otra ranura de la tarjeta.

Notas

- No se puede formatear durante la opción de grabación simultánea de 1 ranura, durante la reproducción o cuando se muestra la pantalla de miniaturas.
- Durante el formateo, no se puede iniciar la grabación en la tarjeta de memoria SxS.

Compatibilidad de salida de SDI Quad Link

Durante la operación 3840x2160 59.94P (50P), la salida Quad Link (división cuadrática) 59.94P (50P) ahora admite el uso de cuatro conectores SDI.

Nota

La licencia de actualización CBKZ-Z450QL se requiere por separado.

Instale la Licencia de actualización utilizando Maintenance >Option en el menú de configuración.

Compatibilidad con XDCAM air

La transmisión de alta calidad ahora es compatible al conectar el camcorder a XDCAM air.

Nota

XDCAM air es un servicio en la nube prestado por Sony.

Para utilizar este servicio, es necesario registrarse.

XDCAM air no está disponible en algunas regiones. Para obtener más información sobre las zonas en las que el servicio está disponible, visite el sitio web indicado a continuación.

<https://www.xdcam-air.com>

Para obtener más información acerca de la política de privacidad de XDCAM air, visite los sitios siguientes.

– Términos de servicio

https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html

– Política de privacidad de XDCAM air

<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>

– Política de privacidad de Professional ID


<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>

Para obtener más información, póngase en contacto con el responsable de ventas profesional de Sony.

Transferencia de archivos de metadatos de planificación

Los archivos de metadatos de planificación pueden transferirse ahora configurando "Auto upload (Proxy)".

Menú web

Se ha añadido "OSS Information" a los elementos del menú mostrados tocando  en la parte superior izquierda de la pantalla del menú web.

中文

V6.01 中更新的主要功能

升级时的注意事项

进行升级时，请按照升级指南(4-724-330-62(1)) 中介绍的步骤进行操作。

FTP 文件传输速度增强

提高了通过 FTP 上传本机上录制的原始片段时的最大传输速度。

注意

上传时间的减少取决于网络环境。

相关菜单项目

维护 > 文件传输

V6.00 中更新的主要功能

HD 录制模式下支持 S-Log3

现在,当录制格式设为“HD”时,可以选择“HDR(S-Log3)”。

* 关于单插槽同步录制,只有当“4K(QFHD) 拍摄 / 输出”设为“HDR(S-Log3)”时,才能选择“HDR(S-Log3)”。

相关菜单项目

操作 > HDR 设置 > HD 拍摄 / 输出

HLG Look 功能增强

HLG Look 的选项中增加了“Mild”。

当设为“Mild”时,会选择符合 ITU-R BT.2100(HLG)的特性,可提供比 Live 更为温和的整体图像质量。

相关菜单项目

绘图 > HDR 绘图设置 > HLG Look

增加了 HDR 黑压缩功能

已增加 HDR 黑压缩功能。

该功能可设置 HDR 视频黑色电平以匹配 SDR 视频。

相关菜单项目

绘图 > HDR 绘图设置 > HDR 黑压缩

HD 录制模式调制改进

现在,可以选择利用 QFHD 过采样的高分辨率特性。

相关菜单项目

维护 > 相机配置 > HD 调制

- 高：高分辨率特性
- 标准：传统特性

其他

改善了网络功能。

网络安全性得以增强。

注意

当“Wi-Fi 模式”设为“Wi-Fi 接入点”时，不应该原样使用密码。使用通过以下步骤生成的密码。

- 1 将“维护 > 网络 > 设置”设为“开”。
- 2 将“维护 > 网络 > Wi-Fi 模式”设为“Wi-Fi 接入点”。
- 3 执行“维护 > 网络 > 重新生成密码”。

V5.01 中更新的主要功能

解决了在使用某些连接的设备时本机电源意外关闭的问题。

V5.00 中更新的主要功能

支持删除最后片段功能

现在，可使用分配了删除最后片段功能的可指定开关删除最后录制的片段。

相关菜单项目

操作 > 可指定开关

缓存录制功能扩展

现在，缓存录制功能支持在单插槽同步录制模式下以 XAVC-L QFHD 和 MPEG HD422 格式缓存录制最多 2 秒。

相关菜单项目

- 操作 > 录制功能 > 缓存录制
- 操作 > 录制功能 > 4K & HD(子) 录制

支持子片段录制 (HD) 播放功能

在单插槽同步录制模式下录制的子片段 (HD) 支持播放功能。

相关菜单项目

操作 > 录制功能 > HD(子) 播放模式

支持各种分辨率的单独细节内容设置

现在，可以为 QFHD 和 HD 单独配置细节内容。

还支持通过远程控制单元操作单独控制 QFHD 和 HD。

相关菜单项目

- 绘图 > 细节 (QFHD)
- 绘图 > 细节 (HD)
- 维护 > 细节控制 (RM/RCP)

注意

将本机的固件从 5.0 之前的版本升级到 5.0 或更高版本时，现有的细节菜单设置将适用于细节 (HD)，但不适用于细节 (QFHD)。请手动配置细节 (QFHD) 设置。

改进白平衡功能

改进了由于白平衡变化引起的色彩再现的校正方法。

相关菜单项目

绘图 > 追踪矩阵

- A 型：适用于版本 4.12 和更旧版本的方法
- B 型：相对于 A 型，改进了校正方法（默认设置）

改进对焦放大镜 (Focus Mag) 模式显示功能

改进了对焦放大镜 (Focus Mag) 的可视性，避免错误操作。

HDR 功能名称更改

更改了“绘图 > HDR 绘图设置”菜单项目名称和设置。

相关菜单项目

绘图 > HDR 绘图设置 > HLG Look

- Natural：符合 ITU-R BT.2100(HLG) 的特性
- Live：具有更大 HDR 效果的符合 ITU-R BT.2100(HLG) 的特性（默认设置）

“SR Live for HDR”元数据支持

现在可以将 SDR 增益和其他关键参数作为元数据同时记录到文件中。这些关键参数也可以嵌入到 SDI 输出中。使用元数据让包括实时摄像机制作和后期制作中的文件处理在内的解决方案能够更一致。

支持从缩略图屏幕进行文件传输

现在，可以在本机的缩略图屏幕上选择要传输的原始文件和代理文件。

相关菜单项目

缩略图 > 传输片段

缩略图 > 传输片段 (Proxy)

认证更新菜单支持

现在可以使用 Web 菜单导入网络客户端模式证书。

现在还可以使用 Web 菜单中的“Upload Settings”导入 Sony Ci 证书。

有关证书的详情，请联系 Sony 销售代表。

相关菜单项目

- Web 菜单中的“System Settings > Network Client Mode Settings”
- 可通过 Web 菜单中的“Upload Settings”访问“Sony Ci”设置屏幕

密码安全性增强

为增强安全性，用于基本验证的密码现在必须为 8 个字符或更长，且至少分别包含一个字母字符和一个数字字符。

相关菜单项目

维护 > 基本验证 > 密码

注意

将本机的固件版本从 5.0 之前的版本升级到 5.0 或更高版本时，会重置密码设置。在这种情况下，请重新配置密码。

其他

改善了记录和启动操作的稳定性。

V4.12 中更新的主要功能

- 当自动上传代理文件时，新添加文件的传输级别优先于发生传输错误的文件。
- 提高了记录操作的稳定性。

V4.11 中更新的主要功能

解决了在本机的设置菜单中为日期配置闰日（2月29日）时无法进行记录的问题。

V4.10 中更新的主要功能

兼容 QD-G120F 和 QD-G240F XQD 存储卡

QD-G120F 和 QD-G240F 已加入到 XQD 存储卡产品阵容中，可以在摄像机中使用。使用 XQD 存储卡需要有 XQD ExpressCard 适配器（QDA-EX1）。

V4.01 中更新的主要功能

支持 SDI Quad Link 2SI Level-A 输出

在 3840×2160 59.94P (50P) 操作中，除了支持 Square division Level-B 输出以外，现在还支持 SDI Quad Link 2-Sample Interleave (2SI) Level-A 59.94P (50P) 输出。

相关菜单项目

操作 > 输入 / 输出 > 输出格式

注意

需要单独的 CBKZ-Z450QL 升级许可证。
使用设置菜单中的“维护 > 选件”安装升级许可证。

4K (QFHD) 录制期间支持间隔录制功能

现在，在 4K (QFHD) 录制期间支持间隔录制功能

相关菜单项目

操作 > 录制功能 > 间隔录制

支持 S-Gamut3/S-Gamut3.Cine 色彩空间

使用 S-Log3 拍摄时，支持选择 S-Gamut3/S-Gamut3.Cine 作为色彩空间。

相关菜单项目

“操作 > HDR 设置 > S-Log 色彩空间”中的下列设置：

- BT.2020
- S-Gamut3(3200K)
- S-Gamut3(4300K)
- S-Gamut3(5500K)
- S-Gamut3.Cine(3200K)
- S-Gamut3.Cine(4300K)
- S-Gamut3.Cine(5500K)

支持用于 ATW（自动跟踪白平衡）的纯色模式

增加了对纯色模式的支持，与现有模式（自然）相比，纯色模式可自动调整白平衡，获得更贴近原色的结果，而不会残留偏蓝或偏红的颜色。

相关菜单项目

操作 > 白平衡设置 > ATW 模式

- 自然：调节白平衡以获得自然氛围。
- 纯色：调节平衡以更接近原色。

慢 & 快动作录制可指定开关注册

现在可使用可指定开关切换设置菜单中的“慢 & 快动作录制”的开 / 关设置。

可以在可指定开关 1、3、4、5 或 ONLINE 键中注册。

相关菜单项目

操作 > 录制功能 > 慢 & 快动作录制
操作 > 可指定开关

从 SDXC 卡加载计划元数据

现在可使用选购的 MEAD-SD02 介质适配器从 SDXC 卡加载计划元数据。

相关菜单项目

操作 > 计划元数据

注意

无法使用 SD/SDHC 卡。

网络客户端模式中的功能改进

使用 Sony QoS 技术的高质量流媒体的性能得到了改善。此外，现在支持使用 Connection Control Manager 进行以下操作。

- 打开 / 关闭 Proxy 录制。
- 摄像机遥控控制和全部文件操作

相关菜单项目

维护 > 网络客户端模式 > 预设 1/2/3
可记录 Proxy 的 NCM
摄像机控制
摄像机设置

改进了减少闪光带功能

减少闪光带功能已得到改进。

V3.00 中更新的主要功能

支持高动态范围 (HDR)

支持 Hybrid Log Gamma (HLG) 和 S-Log3，因此能够在扩展动态范围下拍摄。

HLG 有两种可用类型。

- HLG_BT.2100：基于 ITU-R BT.2100(HLG) 的 HLG 曲线
 - HLG_Live：基于 ITU-R BT.2100(HLG) 的 HLG 曲线，可提高 HDR 性能（默认设置）
- 当选择 HDR 时，色彩空间会扩展到与 ITU-R BT.2020 等效。

相关菜单项目

- 操作 > 基本设定
- 操作 > HDR 设置
- 绘图 > HDR 绘图设置
- 绘图 > 伽马 (HDR)

注意

当文件格式为 exFAT 且录制格式为 4K (QFHD) 或 HD 时，会启用 HDR 设置。

HLG 显示辅助功能

使用 HLG 在 HDR 下拍摄时，此功能可自动调节寻像器和 LCD 显示器中显示的图像，使其与兼容 HDR 的显示屏相似。将“HLG 显示辅助”功能指定给可指定开关，便可根据需要打开 / 关闭此功能。

注意

此功能适用于寻像器和 LCD 显示器中的图像。不适用于录制的图像和输出图像。

增强了抑噪功能

新增了 [超级] 选项卡，其能够提供比 [高] 设置更强的抑噪功能。

此外，还增加了亮度增益联动模式，可将等级链接到亮度增益设置。

相关菜单项目

绘图 > 抑噪 > 等级

绘图 > 抑噪 > 亮度增益联动

以 4K (QFHD) 录制时支持缓存录制功能

以 4K (QFHD) 录制时支持缓存录制功能。

- 以 XAVC-I QFHD (29.97P 或以下) 录制时为 0 到 2 秒
- 以 XAVC-L QFHD (59.94P/50P) 录制时为 0 到 8 秒
- 以 XAVC-L QFHD (29.97P 或以下) 录制时为 0 到 12 秒

注意

缓存录制功能不能与任何其他特殊录制功能同时使用。

以 4K (QFHD) 录制时支持慢 & 快动作录制功能

以 XAVC-I QFHD 或 XAVC-L QFHD 录制时，支持以 1 FPS 到 60 FPS 的速度执行慢 & 快动作录制功能。

注意

慢 & 快动作录制功能不能与任何其他特殊录制功能同时使用。

改进了对焦放大镜功能

当使用 HDVF-EL20/EL30 系列寻像器并将录制格式设为 4K (QFHD) 时，支持比现有对焦放大镜功能更清晰度的放大图像。

将“对焦放大镜”指定到可指定开关，便可使用此功能。

支持 SDHC 存储卡 (FAT)

除了 SDXC 存储卡外，现在还支持 SDHC 存储卡，可以搭配可选的 MEAD-SD02 介质适配器来使用 SD 存储卡。

注意

- 仅当文件格式为 FAT 且录制格式为 MPEG HD420 (HQ/SP) 时支持 SDHC 存储卡。
- 仅 SDHC 存储卡支持 FAT 文件系统。

配置连接 Wi-Fi 站点的设置

现在可以从本机的设置菜单配置无线 LAN 接入点 (Wi-Fi 站点) 连接设置，而不是只能通过网络菜单。

相关菜单项目

维护 > 网络 > Wi-Fi 站点详细内容设置

网络客户端模式多重注册

现在最多可注册三个网络客户端模式设置。

相关菜单项目

维护 > 网络客户端模式 > 预设 1 到预设 3

XAVC Proxy 录制模式可指定开关注册

现在可使用可指定开关切换设置菜单中的“操作 > XAVC Proxy 录制模式 > 设置”。

如此一来，在网络客户端模式下不使用菜单也能切换 Proxy 录制。

改进了与数字无线接收器的集成

现在可以从摄像机控制 Sony DWR-S01D/S02D/S02DN 数字无线接收器的节电功能。

- 可以将“TX 节电”功能指定给可指定开关。
- 数字无线接收器的节电功能可以与摄像机电源开关的操作相关联。
- 数字无线接收器的节电模式的状态会显示在寻像器和 LCD 显示器中。

相关菜单项目

维护 > WRR 设置 > TX 节电

维护 > WRR 设置 > TX- 摄录一体机电源同步

注意

Sony 数字无线接收器需要安装如下固件版本才能支持此功能。

DWR-S01D V1.16 或更高版本、S02D V1.07 或更高版本、S02DN V1.12 或更高版本

V2.00 中更新的主要功能

支持单插槽同步录制

以 XAVC-I 3840×2160P 或 XAVC-L 3840×2160P 录制时，还可以以 MPEG HD422 录制子片段。

在设置菜单中将“操作 > 录制功能 > 4K & HD (子) 录制”设为“开”可启用此功能。

将子片段复制到媒体中作为主片段

可将使用单插槽同步录制功能创建的子片段复制到其他媒体上，另存为主片段。

在录制的同时格式化

现在即使在录制期间，也可以格式化其他卡插槽中插入的 SxS 存储卡。

注意

- 在单插槽同步录制期间、播放期间和显示缩略图屏幕时，不支持格式化。
- 在格式化期间，无法开始录制到其他 SxS 存储卡。

支持 SDI Quad Link 输出

现在在 3840×2160 59.94P (50P) 操作期间，支持使用四个 SDI 接口进行 59.94P (50P) Quad Link (Square division) 输出。

注意

需要单独的 CBKZ-Z450QL 升级许可证。

使用设置菜单中的“维护 > 选件”安装升级许可证。

支持 XDCAM air

通过将摄像机连接到 XDCAM air，现在支持高质量流媒体。

注意

XDCAM air 是 Sony 提供的云服务。

若要使用此服务，需要进行注册。

某些地区不提供 XDCAM air。有关提供此服务地区的详细信息，请参阅以下网站。

<https://www.xdcam-air.com>

有关 XDCAM air 隐私政策的详细信息，请访问下列网址。

– 服务条款

https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html

– XDCAM air 隐私政策

<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>

– Professional ID 隐私政策

<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>

有关详细信息，请联系 Sony 专业销售代表。

传输计划元数据文件

现在通过设置“自动上传 (Proxy)”，可以传输计划元数据文件。

Web 菜单

“OSS 信息”已添加到点击 Web 菜单屏幕左上方的  而显示的菜单项目中。

Русский

Основные функции, обновленные в версии V6.01

Меры предосторожности при обновлении

При обновлении следуйте шагам, приведенным в руководстве по обновлению (4-724-330-72(1)).

Повышение скорости передачи файлов по протоколу FTP

Увеличена максимальная скорость передачи при загрузке оригинальных клипов, записанных на устройстве, по протоколу FTP.

Примечание

Сокращение в скорости загрузки будет зависеть от сетевого окружения.

Соответствующие пункты меню

Maintenance > File Transfer

Основные функции, обновленные в версии V6.00

Поддержка S-Log3 в режиме записи HD

Теперь параметр HDR(S-Log3) можно выбрать, когда в качестве режима записи используется HD.

* Для режима 1-slot Simul Rec параметр HDR(S-Log3) можно выбрать только в том случае, когда настройке 4K(QFHD) Rec/Out задано значение HDR(S-Log3).

Соответствующие пункты меню

Operation > HDR Setting > HD Rec/Out

Улучшения функции HLG Look

В список возможных значений параметра HLG Look добавлен вариант “Mild”.

Когда установлено значение Mild, выбирается характеристика, соответствующая ITU-R BT.2100(HLG), которая обеспечивает более мягкое общее качество изображения, чем Live.

Соответствующие пункты меню

Paint > HDR Paint Setting > HLG Look

Добавлена функция HDR Black Compression

Появилась новая функция HDR Black Compression. Она устанавливает уровень черного видео HDR в соответствии с видео SDR.

Соответствующие пункты меню

Paint > HDR Paint Setting > HDR Black Compression

Улучшение модуляции режима записи HD

Теперь можно выбрать характеристику высокого разрешения, которая использует сверхдискретизацию QFHD.

Соответствующие пункты меню

Maintenance > Camera Config > HD Modulation

– High: характеристика высокого разрешения

– Normal: обычная характеристика

Другие

Улучшена функция сети.

Усилена сетевая безопасность.

Примечание

Не следует использовать пароль по умолчанию, когда параметру Wi-Fi Mode задано значение Wi-Fi Access Point. Используйте пароль, сгенерированный во время следующей процедуры.

1. Задайте для параметра Maintenance >Network >Setting значение On.
2. Задайте для параметра Maintenance >Network >Wi-Fi Mode значение Wi-Fi Access Point.
3. Выполните команду Maintenance >Network >Regenerate Password.

Основные функции, обновленные в версии V5.01

Решена проблема, при которой питание устройств непреднамеренно выключалось при использовании некоторых подключенных устройств.

Основные функции, обновленные в версии V5.00

Поддержка функции Last Clip Delete

Последний записанный клип теперь можно удалять с помощью назначаемого переключателя, которому назначена функция Last Clip Delete.

Соответствующие пункты меню

Operation >Assignable Switch

Расширение функции Picture Cache Rec

Функция Picture Cache Rec теперь поддерживает до 2 секунд кэшированной записи в режиме 1-slot Simul Rec в форматах XAVC-L QFHD и MPEG HD422.

Соответствующие пункты меню

- Operation >Rec Function >Picture Cache Rec
- Operation >Rec Function >4K & HD(Sub) Rec

Поддержка функции воспроизведения записи дополнительных клипов (HD)

Для дополнительных клипов (HD), записываемых в режиме 1-slot Simul Rec поддерживается функция воспроизведения.

Соответствующие пункты меню

Operation >Rec Function >HD(Sub) Playback Mode

Поддержка отдельных настроек параметра Detail для различных разрешений

Теперь возможна отдельная настройка параметра Detail для разрешений QFHD и HD.

Отдельные функции управления для разрешений QFHD и HD поддерживаются также при работе с пульта дистанционного управления.

Соответствующие пункты меню

- Paint >Detail(QFHD)
- Paint >Detail(HD)
- Maintenance >Detail Control(RM/RCP)

Примечание

При обновлении микропрограммного обеспечения устройства с версии ниже 5.0 до версии 5.0 или новее существующие настройки меню Detail применяются к Detail(HD), но не к Detail(QFHD). Выполните настройки Detail(QFHD) вручную.

Улучшения функции баланса белого

Улучшен способ коррекции для воспроизведения цветов за счет изменений баланса белого.

Соответствующие пункты меню

Paint >Tracing Matrix

- Type A: способ для версии 4.12 и более ранних
- Type B: улучшения способа коррекции относительно настройки Type A (настройка по умолчанию)

Улучшения функции отображения в режиме лупы фокусировки

Улучшенная видимость в режиме лупы фокусировки (Focus Mag) во избежание ошибок в работе.

Изменение названия HDR-функции

Изменены название и настройки пункта меню Paint >HDR Paint Setting.

Соответствующие пункты меню

Paint >HDR Paint Setting >HLG Look

- Natural: характеристика, соответствующая ITU-R BT.2100(HLG)
- Live: характеристика, соответствующая ITU-R BT.2100(HLG) с большим эффектом HDR (настройка по умолчанию)

Поддержка метаданных “SR Live for HDR”

SDR Gain и другие ключевые параметры теперь можно записывать одновременно в файл как метаданные. Эти ключевые параметры можно также включать в SDI-вывод. Использование метаданных обеспечивает более последовательные решения начиная с записи на камеру в реальном времени вплоть до обработки файлов на завершающем этапе.

Передача файлов поддерживается с экрана эскизов

Исходные файлы и прокси-файлы для передачи теперь можно выбрать на экране эскизов устройства.

Соответствующие пункты меню

Thumbnail >Transfer Clip

Thumbnail >Transfer Clip(Proxy)

Поддержка меню обновления сертификата

Сертификаты Network Client Mode теперь можно импортировать при помощи веб-меню.

Сертификаты Sony Ci можно также импортировать при помощи команды Upload Settings в веб-меню.

Для получения информации о сертификатах обратитесь к представителю отдела продаж Sony.

Соответствующие пункты меню

- System Settings >Network Client Mode Settings в веб-меню
- Экран настройки “Sony Ci” при обращении к команде Upload Settings в веб-меню

Усиление защиты при помощи пароля

Теперь для усиления защиты пароли, используемые для базовой аутентификации, должны быть не менее 8 символов и содержать по меньшей мере один алфавитный символ и один цифровой символ.

Соответствующие пункты меню

Maintenance >Basic Authentication >Password

Примечание

Заданный пароль сбрасывается при обновлении микропрограммного обеспечения устройства с версии ниже 5.0 до версии 5.0 или новее. В этом случае настройте пароль заново.

Другие

Улучшены стабильность записи и операции запуска.

Основные функции, обновленные в версии V4.12

- Когда прокси-файлы загружаются автоматически, передача вновь добавленных файлов имеет приоритет над файлами с ошибкой передачи.
- Улучшена стабильность операции записи.

Основные функции, обновленные в версии V4.11

Решена проблема, когда запись не могла быть выполнена при задании даты 29 февраля для пункта Date в меню настройки устройства.

Основные функции, обновленные в версии V4.10

Совместима с картами памяти XQD QD-G120F и QD-G240F

Карты QD-G120F и QD-G240F добавлены к линейке карт памяти XQD, которые можно использовать с этой видеокамерой. Для использования карты памяти XQD требуется адаптер XQD ExpressCard (QDA-EX1).

Основные функции, обновленные в версии V4.01

Поддержка выхода SDI Quad Link 2SI Level-A

При работе в режиме 3840x2160 59.94P (50P) теперь поддерживается выход SDI Quad Link 2-Sample Interleave (2SI) Level-A 59.94P (50P) в дополнение к выходу Square division Level-B.

Связанные пункты меню

Operation >Input/Output >Output Format

Примечание

Требуется отдельная лицензия модернизации CBKZ-Z450QL. Лицензия модернизации устанавливается с помощью пункта Maintenance >Option в меню настройки.

Поддержка функции Interval Rec во время записи в режиме 4K (QFHD)

Теперь функция Interval Rec поддерживается во время записи в режиме 4K (QFHD).

Связанные пункты меню

Operation >Rec Function >Interval Rec

Поддержка цветового пространства S-Gamut3/S-Gamut3.Cine

Цветовые пространства S-Gamut3/S-Gamut3.Cine теперь доступны для выбора при съемке с использованием S-Log3.

Связанные пункты меню

Следующие параметры в пункте Operation >HDR Setting >S-Log Color Space:

BT.2020
S-Gamut3(3200K)
S-Gamut3(4300K)
S-Gamut3(5500K)
S-Gamut3.Cine(3200K)
S-Gamut3.Cine(4300K)
S-Gamut3.Cine(5500K)

Поддержка режима Pure для ATW (автоматического отслеживания баланса белого)

Добавлена поддержка для режима Pure, который, в отличие от существующего режима (Natural), автоматически регулирует баланс белого для достижения результата, более близкого к основным цветам без остаточных синеватых или красноватых оттенков.

Связанные пункты меню

Operation >White Setting >ATW Mode

Natural: баланс белого настраивается для получения естественных цветов окружающей среды.

Pure: баланс настраивается ближе к основным цветам.

Регистрация назначаемого переключателя Slow & Quick Motion

Пункты включения и выключения Slow & Quick Motion в меню настройки теперь можно переключать с помощью назначаемого переключателя.

Это можно зарегистрировать для настраиваемого переключателя 1, 3, 4, 5 или кнопки ONLINE.

Связанные пункты меню

Operation >Rec Function >Slow & Quick Motion

Operation >Assignable SW

Загрузка метаданных планирования с карты SDXC

Метаданные планирования теперь можно загружать с карт памяти SDXC с использованием дополнительно приобретаемого адаптера для носителей MEAD-SD02.

Связанные пункты меню

Operation >Planning Metadata

Примечание

Карты SD/SDHC использовать нельзя.

Улучшения функций в режиме сетевого клиента

Повышена производительность потоковой передачи высокого качества с использованием технологии Sony QoS. Кроме того, теперь поддерживаются следующие операции с использованием Connection Control Manager.

- Включение и выключение записи прокси
- Дистанционное управление камерой и операции с файлом ALL

Связанные пункты меню

Maintenance >Network Client Mode >Preset1/2/3

NCM with Proxy
Camera Control
Camera Setting

Улучшения функции Flash Band Reduce

Внесены улучшения в функцию Flash Band Reduce.

Основные функции, обновленные в версии V3.00

Поддержка широкого динамического диапазона (HDR)

Обеспечена поддержка Hybrid Log Gamma (HLG) и S-Log3 для предоставления возможности съемки с расширенным динамическим диапазоном.

Доступны варианты HLG двух следующих типов.

- HLG_BT.2100: кривая HLG на основе ITU-R BT.2100(HLG)
- HLG_Live: кривая HLG на основе ITU-R BT.2100(HLG), обеспечивающая улучшенные характеристики HDR (настройка по умолчанию)

Когда выбран диапазон HDR, цветовое пространство расширяется до эквивалента ITU-R BT.2020.

Связанные пункты меню

- Operation >Base Setting
- Operation >HDR Setting
- Paint >HDR Paint Setting
- Paint >Gamma(HDR)

Примечание

Настройки HDR доступны, когда в качестве файловой системы выбран exFAT, а в качестве формата записи — 4K (QFHD) или HD.

Функция помощи при отображении HLG

При съемке в диапазоне HDR с использованием HLG эта функция автоматически регулирует изображение, отображаемое в видеискателе и на ЖК мониторе, таким образом, чтобы оно было таким же, как при отображении на дисплее, совместимом с HDR.

Функцию помощи при отображении HLG можно включать и выключать, задав функцию "HLG Display Assist" одному из назначаемых переключателей.

Примечание

Эта функция применяется к изображению, отображаемому в видеискателе и на ЖК мониторе. Она не применяется к записываемому или выводимому изображению.

Расширенная функция подавления шума

Было добавлено значение [Super], которое обеспечивает более сильное подавление шума, чем значение [High]. Кроме того, был добавлен режим, позволяющий связать уровень с настройкой усиления.

Связанные пункты меню

Paint >Noise Suppression >Level
Paint >Noise Suppression >Gain Link

Поддержка функции записи кэша изображений при съемке с разрешением 4K (QFHD)

Функция записи кэша изображений поддерживается при съемке с разрешением 4K (QFHD).

- От 0 до 2 секунд в формате XAVC-I QFHD (29.97P или ниже)
- От 0 до 8 секунд в формате XAVC-L QFHD (59.94P/50P)
- От 0 до 12 секунд в формате XAVC-L QFHD (29.97P или ниже)

Примечание

Функцию записи кэша изображений нельзя использовать одновременно с любыми другими специальными функциями записи.

Поддержка функции замедленного и ускоренного движения при съемке с разрешением 4K (QFHD)

Функция замедленного и ускоренного движения поддерживается на скорости от 1 до 60 кадров в секунду при записи в формате XAVC-I QFHD или XAVC-L QFHD.

Примечание

Функцию замедленного и ускоренного движения нельзя использовать одновременно с любыми другими специальными функциями записи.

Улучшенная функция увеличения изображения для упрощения фокусировки

Увеличенное представление более высокого разрешения, чем у имеющейся функции увеличения изображения для упрощения фокусировки, поддерживается при использовании видеискателя серии HDVF-EL20/EL30, когда в качестве формата записи выбран 4K (QFHD). Для использования этой функции функцию "Focus Magnifier" необходимо задать назначаемому переключателю.

Поддержка карт памяти SDHC (FAT)

Теперь в число поддерживаемых SD-карт помимо карт памяти SDXC также входят карты памяти SDHC. Для их использования требуется дополнительно приобретаемый адаптер для носителей MEAD-SD02.

Примечания

- Карты памяти SDHC поддерживаются только при использовании файловой системы FAT, когда выбран формат записи MPEG HD420 (HQ/SP).
- Файловая система FAT поддерживается только на картах памяти SDHC.

Настройка параметров для подключения к станции Wi-Fi

Настройки подключения к точке доступа беспроводной ЛВС (станция Wi-Fi) теперь можно задать из меню настройки устройства, а не только из веб-меню.

Связанные пункты меню

Maintenance >Network >Wi-Fi Station Detail Settings

Регистрация нескольких режимом сетевого клиента

Теперь можно зарегистрировать до трех настроек режима сетевого клиента.

Связанные пункты меню

Maintenance >Network Client Mode >Preset 1–Preset 3

Регистрация назначаемого переключателя режима XAVC Proxy Rec Mode

Пункт Operation >XAVC Proxy Rec Mode >Setting меню настройки теперь можно переключать с помощью назначаемого переключателя.

Это позволяет переключать запись прокси-файлов в режиме сетевого клиента без использования меню.

Улучшенная интеграция с цифровыми беспроводными приемниками

Теперь с видеокамеры можно управлять функцией экономии энергии цифровых беспроводных приемников Sony DWR-S01D/S02D/S02DN.

- Функцию "TX Power Save" можно задать назначаемому переключателю.
- Функцию экономии энергии цифрового беспроводного приемника можно связать с положением переключателя питания видеокамеры.
- Состояние цифрового беспроводного приемника в режиме экономии энергии отображается в видеискателе и на ЖК мониторе.

Связанные пункты меню

Maintenance >WRR Setting >TX Power Save

Maintenance >WRR Setting >TX-Cam Power Sync

Примечание

Необходимая для поддержки версия микропрограммного обеспечения цифрового беспроводного приемника Sony приведена ниже.

DWR-S01D V1.16 или более поздняя, S02D V1.07 или более поздняя, S02DN V1.12 или более поздняя

Основные функции, обновленные в версии V2.00

Поддержка одновременной записи в 1 гнезде

При записи в формате XAVC-I 3840x2160P или XAVC-L 3840x2160P можно также записать дополнительный клип в формате MPEG HD422.

Для включения этой функции задайте в пункте Operation >Rec Function >4K & HD (Sub) Rec меню настройки значение On.

Копирование дополнительного клипа на носитель в качестве основного клипа

Дополнительный клип, созданный в режиме одновременной записи 1-slot Simul Rec, можно скопировать и сохранить на другой носитель в качестве основного клипа.

Форматирование во время записи

Теперь карту памяти SxS, загруженную в другое гнездо для карты памяти, можно форматировать даже во время записи.

Примечания

- Форматирование не поддерживается в режиме одновременной записи 1-slot Simul Rec, во время воспроизведения или при отображении экрана эскизов.
- Во время форматирования запустить запись на другую карту памяти SxS невозможно.

Поддержка вывода на разъемы SDI по схеме Quad Link

Во время работы в формате 3840x2160 59.94P (50P) теперь поддерживается вывод сигнала 59.94P (50P) по схеме Quad Link (разделение Square) с использованием четырех разъемов SDI.

Примечание

Отдельно требуется лицензия обновления для CBKZ-Z450QL.

Установите лицензию обновления, используя пункт Maintenance >Option меню настройки.

Поддержка сервиса XDCAM air

Теперь поддерживается потоковая передача высокого качества путем подключения видеокамеры к сервису XDCAM air.

Примечание

XDCAM air — облачная служба, предоставляемая Sony. Для использования этой службы требуется регистрация. XDCAM air не предоставляется в некоторых регионах. Для получения дополнительной информации о регионах предоставления этой службы см. следующий веб-сайт.
<https://www.xdcam-air.com>

Сведения о политике конфиденциальности в отношении XDCAM air приведены на следующих сайтах.

– Условия обслуживания

https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html

– Политика конфиденциальности в отношении XDCAM air
<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>


– Политика конфиденциальности в отношении профессионального идентификатора
<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>

За подробной информацией обращайтесь в торговое представительство, занимающееся профессиональными продуктами корпорации Sony.

Передача файлов Planning Metadata

Задав функцию "Auto upload (Proxy)", теперь можно передавать файлы Planning Metadata.

Веб-меню

К элементам меню, которые отображаются касанием значка  в верхнем левом углу экрана веб-меню, добавлен элемент "OSS Information".